

4. 個人の研究業績

凡 例

氏 名

- (1 公刊図書等)
- (2 報告書)
- (3 論文)
- (4 解説、翻訳等)
- (5 学会発表)
- (6 講演会、研究会発表)
- (7 所属学会、委員等)
- (8 教育等)

相 澤 正 彦 AIZAWA Masahiko (調査員)

- (6 発表) 雪舟筆『破墨山水図』と宗淵 美術部研究会 東京文化財研究所 06.1.18
- (7 所属学会) 美術史学会
- (6 教育等) 成城大学教授

青 木 繁 夫 AOKI Shigeo (国際文化財保存修復協力センター)

- (3 論文) *Collective Memory, Living with Cultural Heritage –Asia, perspectives at changing period: Theories and outlines, Proceedings of Fourteenth Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage March 2006, pp.171-177, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 06.3.*
- (3 論文) パーミヤーン遺跡における環境調査(1) 外部環境と石窟内の温湿度環境 (宇野朋子、谷口陽子、大竹秀実、青木繁夫) 『保存科学』45 pp.9-16 06.3
- (3 論文) パーミヤーン仏教壁画の保存修復(1) グラウティングによる応急処置 (大竹秀実、谷口陽子、青木繁夫) 『保存科学』45 pp.17-24 06.3
- (6 講演) 日本の海外での国際協力の実績 日・伊共催シンポジウム「人類の文化遺産 国際協力を守る」 有楽町朝日ホール 06.2.25
- (6 発表) 集合的記憶 第14回アジア文化財保存セミナー「文化遺産とともに生きる アジア 変革期における展望：その理論と概観」 東京文化財研究所 05.10.25
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、文化財科学会、日本考古学協会、日本文化財探査学会、風工学会、The International Insutitute for Conservation of Historic and Artistic Works (IIC)
- (7 委員) 平等院国宝修理委員会委員、独立行政法人科学技術振興機構その他革新技術分野分科会委員
- (8 教育等) 東京芸術大学大学院文化財保存学専攻システム保存学教授(連携併任)、國學院大學文学部史学科非常勤講師、日本大学文理学部非常勤講師

青 木 茂 AOKI Shigeru (調査員)

- (3 論文) 一身で二つの生を生きた人 『小野忠重全版画』 求龍堂 05.11
- (4 評論) 新・旧刊案内 22 昭和十八年の劉生と文楽の首と大小曆、その他 附「岸田劉生十五周年油絵素描回顧展」目録 『一寸』22 pp.1-10 05.4
- (4 評論) 新・旧刊案内 23 日本人による最初の石版画「観光問鼎」から自然に昭和十八年が引かかる僕の日常、など 『一寸』23 pp.1-5 05.7
- (4 評論) 新・旧刊案内 24 高橋由一の「油絵大図」など 『一寸』24 pp.1-7 05.10
- (4 評論) 新・旧刊案内 25 火野葦平『小説 陸軍』のことなど 『一寸』25 pp.1-10 06.2
- (6 所属学会) 美術史学会、明治美術学会(理事)

(7 教育等) 文星芸術大学教授

青木(近藤)静乃 AOKI (Kondo) Shizuno (調査員)

(3 論文) 南北朝・室町期の豊原家笙譜による「朗詠伽陀付物」小考 『芸能の科学』33 pp.1-42 06.3

(6 講演) 中世天台声明とその周辺 声明・雅楽の古楽譜による旋律の復元 第36回芸能部公開学術講座 江戸東京博物館ホール 05.12.1

飯島 満 IIJIMA Mitsuru (芸能部)

(3 論文) 義太夫節正本の翻刻にあたっての問題点 漢字入力処理原則 平成13~16年度科学研究費補助金・基盤研究(B)(1)13410127 『未翻刻浄瑠璃正本の網羅的調査・翻刻による浄瑠璃の基礎研究』報告書 pp.33-38 早稲田大学 05.3 (前年度業績)

(3 論文) 豊沢猿幸「義太夫メリヤス集」 『歌舞伎研究と批評』35 pp.27-32 05.6

(3 論文) 『系統別歌舞伎戯曲解題』索引 『伝統芸能の特殊な上演に関する調査研究』 pp.328-149(21-200) 東京文化財研究所 06.3

(3 論文) 東京文化財研究所芸能部所蔵五代目尾上菊五郎舞台扮装写真 『芸能の科学』33 pp.256-249(1-28) 06.3

(4 資料作成) 国立音楽大学附属図書館寄贈竹内道敬旧蔵音盤目録(1) 『芸能の科学』33 pp.242-184(31-93) 06.3

(6 発表) 二代目鶴沢清八『義太夫名人の型』を聞く 楽劇学会例会 東京文化財研究所 05.11.25

(6 発表) 文楽の口上と鳥屋触 早稲田大学 COE 研究会 早稲田大学文学部 06.1.24

(6 発表) 二代目鶴沢清八『義太夫名人の型』を聞く(第2回) 楽劇学会例会 東京文化財研究所 06.3.10

(7 所属学会) 歌舞伎学会(編集委員長)、日本近世文学会、日本演劇学会、楽劇学会、情報処理学会

(8 教育等) 早稲田大学客員講師

石崎 武志 ISHIZAKI Takeshi (保存科学部)

(2 報告) 古墳の保存と活用のための生物等被害状況アンケート調査 九州 (佐野千絵、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.107-120 06.3

(2 報告) 展示公開施設の館内環境調査報告 平成16年度 (吉田直人、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』45 pp.277-282 06.3

(3 論文) タイ国スコータ遺跡における大仏の保存修復 表面水分量と藻類等の繁殖に関するモデル柱における実験 (宇野朋子、石崎武志、西浦忠輝、チラポーン・アランヤナーク) 『保存科学』45 pp.25-32 06.3

(3 論文) 高松塚古墳の微生物対策の経緯と現状(木川りか、佐野千絵、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.33-58 06.3

(3 論文) 高松塚古墳墳丘部の生物対策としての冷却方法の検討(石崎武志、三浦定俊、犬塚将英、カリル・マグディ) 『保存科学』45 pp.59-68 06.3

(3 論文) 高松塚古墳墳丘部の土質および水分分布調査(石崎武志、犬塚将英、三村衛) 『保存科学』45 pp.69-76 06.3

(3 論文) キトラ古墳保護覆屋内の環境について 温度・湿度と炭酸ガス濃度 (佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、森井順之、加藤雅人、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.77-92 06.3

(3 論文) 展示ケース、展示施設の換気回数測定のための基礎実験(犬塚将英、石崎武志) 『保存科学』45 pp.207-214 06.3

(3 論文) 文化財公開施設の空気環境評価における変色試験紙法の再評価 パッシブインジケータ®との相関(佐野千絵、吉田直人、石崎武志) 『保存科学』45 pp.215-226 06.3

- (3 論文)熊本城「細川家舟屋形」の保存環境に関する研究(石崎武志、白石靖幸、肥塚祐美子) 『保存科学』45 pp.227-240 06.3
- (3 論文)「北海道開拓の村」の歴史的建造物の壁面劣化調査(高見雅三、石崎武志) 『保存科学』45 pp.241-250 06.3
- (5 学会発表)鉄筋コンクリート補強された歴史的煉瓦造建造物に見られる発華現象の発生メカニズム(松尾隆士、田中享二、石崎武志) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
- (5 学会発表)壁材の異なる山車収蔵施設内の温湿度解析(石崎武志、古谷太慈、ジョン・グルネワルド) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
- (5 学会発表)二酸化炭素処理による多孔質材質の歪み測定(犬塚将英、木川りか、佐野千絵、石崎武志) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
- (5 学会発表)九州国立博物館の壁付展示ケースにおける換気回数、温度、相対湿度の測定(犬塚将英、石崎武志、鳥越俊行、本田光子) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
- (5 学会発表)高松塚古墳の墳丘部の土質および水分分布調査(石崎武志、犬塚将英、三村衛) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表)高松塚古墳における30年間の気温変動と石室内環境(三浦定俊、赤松俊祐、木川りか、佐野千絵、杉山純太) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表)古墳石室内における温度、湿度制御のための基礎研究(犬塚将英、石崎武志) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表)北海道開拓の村の歴史的建造物の壁面劣化調査(その2)(高見雅三、石崎武志) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表)土壁の吸放湿特性に関する実験的研究(古谷太慈、石崎武志) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表)高松塚古墳墳丘土の熱物性測定(カリル・マグディ、石崎武志、溝口勝) 平成17年度土壤物理学会シンポジウム 北海道大学 05.10.15
- (6 発表) Study on Conservation of Cultural Properties in Asia, The third annual Gaylon Campbell Lecture, the Washington State University, 05.11.14.
- (6 発表) Moisture related problems of mural paintings in tumulus in Asian countries, Seminar Study of moisture movement in building material and its simulation analysis, Dept. of Architecture and Architectural Eng., Kyoto University, 05.11.28.
- (6 発表) Wall deterioration and mechanism due to freeze and thaw of stone and earthen wall in the Historical Village of Hokkaido (Masazo Takami and Takeshi Ishizaki), Seminar Study of moisture movement in building material and its simulation analysis, Dept. of Architecture and Architectural Eng., Kyoto University, 05.11.28.
- (6 発表) 墳丘および石室内における水分の挙動と壁画に及ぼす影響、平成17年度保存科学研究集会「保存科学における諸問題 キトラ、高松塚古墳壁画の保存科学と修理」 奈良文化財研究所 05.12.9
- (6 発表) 展示ケース、展示施設の換気回数と湿度の安定性(犬塚将英、石崎武志) 保存科学部研究会「文化財の保存(収蔵展示)環境の研究 展示ケース、展示施設の換気回数と湿度の安定性」 東京文化財研究所 05.12.13
- (6 発表) 熊本城「細川家舟屋形」の保存環境に関する研究(白石靖幸、肥塚祐美子、石崎武志) 保存科学部研究会「文化財の保存(収蔵展示)環境の研究 展示ケース、展示施設の換気回数と湿度の安定性」 東京文化財研究所 05.12.13
- (6 講演) 保存科学 文化財建造物保存技術協会主催「平成17年度文化財建造物保存技術者養成研修第26回」文化財建造物保存技術協会研修 資料センター 05.9.30
- (7 所属学会)文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本雪氷学会、地盤工学会、日本建築学会、IIC、IIC-Japan、ICOMOS
- (7 委員会) 国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会委員、国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会ワーキンググループ

ープ委員、特別史跡キトラ古墳の保存、活用等に関する調査研究委員会委員、特別史跡キトラ古墳の保存、活用等に関する調査研究委員会ワーキンググループ委員、長浜曳山祭行事、曳山保存専門委員会委員
(8 教育) 東京芸術大学大学院文化財保存学専攻システム保存学保存環境学講座連携教授

稲葉信子 INABA Nobuko (国際文化財保存修復協力センター)

- (2 報告書)『イタリアの文化財保護制度の現在』 東京文化財研究所 06.3
(2 報告書)『オランダ文化財保護制度調査報告』 東京文化財研究所 06.3
(3 論文) The Ise Shrine and the Gion Festival: Case studies on the Values and Authenticity of Japanese Intangible Living Religious Heritage, *Conservation of Living Religious Heritage*, pp.44-57, ICCROM, 2005.
(3 論文) 世界遺産というブランド 『地域政策 三重から』 18 pp.25-31 06.1
(3 論文) From Tangible to Intangible – An Integrated Approach to Cultural Heritage, *Living with Cultural Heritage – Asia, perspectives at changing period: Theories and outlines*, NRICP, 06.3.
(3 論文) イタリアの文化財保護制度の現在 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.8-15 東京文化財研究所 06.3
(3 論文) オランダの文化財保護制度の現在 『オランダ文化財保護制度調査報告』 pp.7-14 東京文化財研究所 06.3
(4 解説) イフガオの民を支えた棚田の危機 NHK「世界遺産」プロジェクト編『危機遺産からのSOS』 pp.68-69 NHK 出版 06.1
(6 講演) 大田市大森銀山・温泉津町温泉津伝統的建造物群保存地区について 鉱山遺跡の顕著な普遍的価値と保存管理に関する専門家会議 島根県大田市 05.6.3
(6 講演) 世界遺産はなぜ必要か 国連大学グローバルセミナー第1回島根・山口セッション 山口県秋吉台 05.8.7
(6 講演) 世界遺産と暮らす 白川郷世界遺産 10周年記念国際フォーラム 2005 岐阜県白川村 05.8.26
(6 講演) 日本と外国における遺産の概念について 早稲田大学文化人類学会第7回総会シンポジウム「遺産概念の再検討」 早稲田大学 06.1.14
(6 講義) 世界遺産条約とオーセンティシティの概念 東京芸術大学文化財保存学専攻 05.5.17
(6 講義) 各国カントリーレポート アジア太平洋地域文化遺産保護調査修復研修 2005 木造建造物の保存と修復 奈良 05.10.5-6
(6 講義) 世界文化遺産 文化庁第12回美術館・歴史博物館学芸員専門研修会 京都国立近代美術館 06.1.23
(6 シンポジウム司会) 世界遺産伊勢路フォーラム 三重県総合文化センター 05.7.31
(6 シンポジウム司会) 正倉院フォーラム 東京よみうりホール 05.9.3
(7 所属学会) 日本建築学会、建築史学会、建築修復学会、ICOMOS
(7 委員会) ICOMOS 日本国内委員会理事、日本建築学会建築博物館委員会委員、ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事業委員会委員、インド政府アジャントアエローラ遺跡保存・観光開発プロジェクト国際専門家委員会委員、三重県熊野古道センター(仮称)研究・保存機能整備検討委員会委員、富岡市歴史的文化遺産を継承する街並み・まちづくり委員会委員、(社)日本ユネスコ協会連盟世界遺産専門委員会ほか
(8 教育) 政策研究大学院大学非常勤講師、東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻非常勤講師、筑波大学大学院芸術研究科世界遺産専攻非常勤講師、昭和女子大学大学院生活機構研究科非常勤講師

犬塚将英 INUZUKA Masahide (保存科学部)

- (3 論文) 高松塚古墳墳丘部の生物対策としての冷却方法の検討(石崎武志、三浦定俊、犬塚将英、カリル・マグディ) 『保存科学』 45 pp.59-68 06.3
(3 論文) 高松塚古墳墳丘部の土質および水分分布調査(石崎武志、犬塚将英、三村衛) 『保存科学』 45 pp.69-76 06.3
(3 論文) キトラ古墳保護覆屋内の環境について 温度・湿度と炭酸ガス濃度 (佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、

森井順之、加藤雅人、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.77-92
06.3

(3 論文) ガス電子増幅フォイルを用いた文化財調査用 X 線検出器の開発 『保存科学』45 pp.121-132 06.3

(3 論文) 展示ケース、展示施設の換気回数測定のための基礎実験(犬塚将英、石崎武志) 『保存科学』45
pp.207-214 06.3

(5 学会発表) 二酸化炭素処理による多孔質材質のひずみの測定(犬塚将英、木川りか、佐野千絵、石崎武志) 文
化財保存修復学会第 27 回大会 東京芸術大学 05.5.14-15

(5 学会発表) 九州国立博物館の壁付展示ケースにおける換気回数、温度、相対湿度の測定(犬塚将英、鳥越俊行、
本田光子、石崎武志) 文化財保存修復学会第 27 回大会 東京芸術大学 05.5.14-15

(5 学会発表) 古墳石室内における温度・湿度制御のための基礎研究(犬塚将英、石崎武志) 日本文化財科学会
第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング (三浦定俊、
佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志、森井順之、山本記子、加藤雅人、早川典子、川野邊渉、青木
繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 キトラ古墳石室等における生物被害とその対処(佐野
千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英、山本記子、加藤雅人、早川典子、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、
肥塚隆保、三浦定俊) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表) 高松塚古墳の墳丘部の土質および水分分布調査(石崎武志、犬塚将英、三村衛) 日本文化財科学
会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表) Measurements of Stability of Gas Electron Multiplier(GEM) (Yorito Yamaguchi, Hideki
Hamagaki, Kyoichiro Ozawa, Susumu Oda, Masahide Inuzuka) 2005 2nd Joint Meeting of the Nuclear
Physics Divisions of the APS and The Physical Society of Japan, Maui, Hawaii, 05.9.18-22.

(5 学会発表) GEM に蒸着させた CsI cathode の量子効率測定(荒巻陽紀、浜田秀樹、小澤恭一郎、四日市悟、
織田勲、森野雄平、山口頼人、犬塚将英、佐野哲、真木祥千子) 日本物理学会第 61 回年次大会 愛媛大学・松山
大学 06.3.27-30

(6 発表) Development of a Time Projection Chamber Using Gas Electron Multipliers (GEM-TPC) (S.X.Oda,
H.Hamagaki, K.Ozawa, M.Inuzuka, T.Sakaguchi, T.Isobe, T.Gunji, S.Saito, Y.Morino, Y.L.Yamaguchi, S.Sawada
and S.Yokkaichi), 2005 IEEE Nuclear Science Symposium Conference, Puerto Rico, 05.10.25.

(6 発表) 展示ケース、展示施設の換気回数と湿度の安定性(犬塚将英、石崎武志) 保存科学部研究会「文化財
の保存(収蔵展示)環境の研究 展示ケース、展示施設の換気回数と湿度の安定性」東京文化財研究所 05.12.13

(7 所属学会)文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本物理学会

(7 委員会)文化財保存修復学会誌編集委員

岩井俊平 IWAI Shumpei (特別研究員)

(2 報告)パーミヤーンの地理的背景(西山伸一、岩井俊平) 『世界遺産パーミヤーン遺跡を守る 総括的なマネ
ージメントプランの策定に関する基本的問題 2004』 pp. 21-24 東京文化財研究所 05.11

(2 報告)石窟 『世界遺産パーミヤーン遺跡を守る 総括的なマネージメントプランの策定に関する基本的問題
2004』 pp.48-49 東京文化財研究所 05.11

(2 報告)壁画の美術様式 『世界遺産パーミヤーン遺跡を守る 総括的なマネージメントプランの策定に関する基
本的問題 2004』 pp. 50-56 東京文化財研究所 05.11

(2 報告)分析試料の採取 山内和也編著『パーミヤーン仏教壁画の編年：放射性炭素による年代測定』(アフガニ
スタン文化遺産調査資料集 第 2 巻) pp.33-115 明石書店 06.1

(3 論文)ヒンドゥー・クシュ山脈の南北における土器組成の比較 『西アジア考古学』6 pp.29-39 05.3(前年
度業績)

(4 解説)破壊されたパーミヤーン遺跡で大発見：極彩色の仏教壁画が見つかった(岩井俊平、谷口陽子、山内和也)

『ニュートン』10月号 pp.56-63 05.9

(5 シンポジウム発表) 中央アジア壁画の放射性炭素 14 年代と美術史編年の比較 第 29 回文化財の保存・修復に関する国際研究集会「シルクロードの壁画が語る東西文化交流」 国立オリンピック記念青少年総合センター 06.1.24

(6 講演) 独立行政法人文化財研究所によるバーミヤーン遺跡保存事業 第 4 次ミッションの成果 日本アフガニスタン協会講演会 アイビーホール青学会館 05.9.28

(7 所属学会) 日本西アジア考古学会、オリエント学会

岩 出 ま ゆ IWADA Mayu (特別研究員)

(1 公刊図書) I marmi della basilica di San Vitale di Ravenna: contributi alla conoscenza (Nora Lombardini, Roberto Bugini, Mayu Iwade, Grazia Tucci), *Alinea Editrice*, 06.3.

(2 報告) バーミヤーン遺跡(窪寺茂、岩出まゆ) 『建造物調査中間報告書 石窟寺院遺構調査 2005 年』 東京文化財研究所 06.3

(7 所属学会) 日本建築学会、ASMOSIA、ICOMOS

内 田 昭 人 UCHIDA Akito (修復技術部)

(2 報告書) 文化財防災研究会の背景 『文化財の防災計画に関する研究 第 1 回研究会 文化財防災への道』 pp.7-14 東京文化財研究所 05.12

(3 論文) 五重塔の耐震性に関する縮小模型実験 その 2 静的水平加力試験と小加振実験結果(河合直人、千葉一樹、内田昭人、前川秀幸、腰原幹雄、花里利一) 『日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)』 2005 pp.483-484 05.9

(3 論文) 伝統的木造建築物の振動特性 その 13 最勝院五重塔の振動実験(内田昭人、前川秀幸、河合直人、花里利一、箕輪親宏、松留慎一郎、登坂弾行) 『日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)』 2005 pp.491-492 05.9

(5 学会発表) 伝統的木造建築物の振動特性 その 13 最勝院五重塔の振動実験(内田昭人、前川秀幸、河合直人、花里利一、箕輪親宏、松留慎一郎、登坂弾行) 2005 日本建築学会大会 近畿大学 05.9.1-3

(5 学会発表) 五重塔の耐震性に関する縮小模型実験 その 2 静的水平加力試験と小加振実験結果(河合直人、千葉一樹、内田昭人、前川秀幸、腰原幹雄、花里利一) 2005 日本建築学会大会 近畿大学 05.9.1-3

(7 所属学会) 日本建築学会、日本文化財科学会、日本遺跡学会

(7 委員会) 史跡藤ノ木古墳整備検討委員会委員、五重塔検討委員会委員、大都市大震災軽減化特別プロジェクト「振動台活用による耐震性向上」木造建物実験木造研究委員会 E-ディフェンス実験実施グループ員

宇 野 朋 子 UNO Tomoko (特別研究員)

(2 報告書) タ・ネイ遺跡の微気象環境の調査報告(宇野朋子、西浦忠輝、Say Sophearin、登尾浩助、石崎武志、二神葉子) 『文化財の保存修復に関する国際共同研究 成果報告書』 pp.73-82 東京文化財研究所 06.3

(3 論文) 吸放湿材の利用の諸条件と評価 研究の現状と可能性(小椋大輔、宇野朋子) 『日本建築学会 熱シンポジウム』 pp.77-84 05.11

(3 論文) バーミヤーン遺跡における環境調査(1) 外部環境と石窟内の温湿度環境(宇野朋子、谷口陽子、大竹秀実、青木繁夫) 『保存科学』 45 pp.9-16 06.3

(3 論文) タイ王国スコタイ遺跡における大仏の保存修復 表面水分量と藻類等の繁殖に関するモデル柱における実験(宇野朋子、石崎武志、西浦忠輝、チラポン・アランヤナーク) 『保存科学』 45 pp.25-32 06.3

(5 学会発表) 高温多湿気候下における冷房エネルギー消費量の削減に関する研究(宇野朋子、銚井修一、今井梓、間瀬敦史、Sri Nastiti Ekasiwi) 日本建築学会近畿支部研究報告会 大阪工業技術専門学校 05.6.18-19

(5 学会発表) スコタイ遺跡における仏像の保存に関する研究(宮内真紀子、銚井修一、宇野朋子、西浦忠輝、石

崎武志) 日本建築学会近畿支部研究報会 大阪工業技術専門学校 05.6.18-19

(5 学会発表) スコoty遺跡における仏像の保存に関する研究 その1 寺院内の気流解析による換気量の算定

(宮内真紀子、鉾井修一、宇野朋子、西浦忠輝、石崎武志) 日本建築学会大会学術講演会 近畿大学 05.9.1-3

(5 学会発表) スコoty遺跡における仏像の保存に関する研究 その2 寺院および仏像の熱水分解析(宇野朋子、

鉾井修一、宮内真紀子、西浦忠輝、石崎武志) 日本建築学会大会学術講演会 近畿大学 05.9.1-3

(5 学会発表) インドネシアに建つ住宅における室内温熱環境の最適化(間瀬敦史、鉾井修一、宇野朋子、Sri Nastiti Ekasiwi) 日本建築学会大会学術講演会 近畿大学 05.9.1-3

(6 発表) Reduction in Energy Consumption by Air-Conditioner in Residences under Hot and Humid Climates (Tomoko Uno, Shuichi Hokoi, Sri Nastiti Ekasiwi), World Sustainable Building Conference 2005 Tokyo, International Conference Pavilion PAMIR, New Takanowa Prince Hotel, Poster presentation, 05.9.27-29

(7 所属学会) 日本建築学会

江村知子 EMURA Tomoko (協力調整官 情報調整室)

(3 論文) 光琳と紋 光琳の意匠性と光琳関係資料 『国宝燕子花図 光琳 元禄の偉才』展図録 根津美術館 pp.98-107 05.10

(3 論文) 光琳の蒔絵製作と絵画 『美術史』159 pp.111-124 05.11

(3 論文) 光琳の絵画学習と画風形成について 『武蔵野美術大学研究紀要』36 pp.5-14 06.3

(4 解説) 『国宝燕子花図 光琳 元禄の偉才』展図録 作品解説 根津美術館 pp.108-130 05.10

(6 講演) 江戸絵画1 狩野派・琳派 日本絵画鑑賞入門講座 新宿歴史博物館 05.12.17

(7 所属学会) 美術史学会

(8 教育) 早稲田大学文学部非常勤講師、武蔵野美術大学芸術文化学科非常勤講師、東洋美術学校非常勤講師

大島 暁雄 OSHIMA Akio (客員研究員)

(3 論文) 無形の民俗文化財の保護について 特に、昭和50年文化財保護法改正を巡って 『國學院雑誌』107-3 pp.46-56 06.3

(3 論文) 無形の文化財の保護をめぐる 特に、民俗芸能を中心に 『芸能の科学』33 pp.133-150 06.3

(6 発表) 民俗文化財映像記録のねらいと枠組み 第8回民俗芸能研究協議会 東京文化財研究所セミナー室 05.11.24

(7 所属学会) 日本民俗学会、日本民具学会(理事)、棚田学会(理事)、物質文化研究会

大竹 秀実 OTAKE Hidemi (調査員)

(3 論文) 東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料・保存修復に関する基礎的研究 III (佐藤一郎、木島隆康、大西博、田中智恵子、大竹秀実) 『東京藝術大学美術学部紀要』43 pp.1-66 06.1

(3 論文) パーミヤーン仏教壁画の保存修復(1) グラウティングによる応急処置 (大竹秀実、谷口陽子、青木繁夫) 『保存科学』45 pp.17-24 06.3

(3 論文) パーミヤーン仏教壁画の材質分析(1) クロスセクションによる彩色技法の調査 (谷口陽子、大竹秀実、前田耕作) 『保存科学』45 pp.1-8 06.3

(3 論文) パーミヤーン遺跡における環境調査(1) 外部環境と石窟内の温湿度環境 (宇野朋子、谷口陽子、大竹秀実、青木繁夫) 『保存科学』45 pp.9-16 06.3

(3 論文) イタリアにおける文化財のカタロギング 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.42-51 東京文化財研究所 06.3

(3 論文) イタリアの1972年修復憲章について 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.174-177 東京文化財研究所 06.3

(3 論文) イタリアにおける「文化財修復士」の資格(大竹秀実、二神葉子) 『イタリアの文化財保護制度の現在』

pp.32-39 東京文化財研究所 06.3

(3 報告)文化財・文化活動省の組織 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.172-173 東京文化財研究所 06.3

(3 報告)文化財監督局 トスカーナ州、フィレンツェの例 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.26-29 東京文化財研究所 06.3

(3 報告)国立修復研究所 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.30-31 東京文化財研究所 06.3

(3 報告)文化財の危機管理 文化財危険地図(二神葉子、大竹秀実) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.52-59 東京文化財研究所 06.3

(4 翻訳)小佐野重利監訳、池上英洋・大竹秀実訳『チェーザレ・ブランディ 修復の理論』(Cesare Brandi, *Teoria del Restauro*, Einaudi Editore, Torino 1977) 三元社 05.6

(4 翻訳)イタリア文化遺産の売却(Denise La Monica, Emanuele Pellegrini, *La vendita del patrimonio culturale italiano*) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.16-23 東京文化財研究所 06.3

(4 翻訳)イタリアと日本における文化的景観の保存(Matteo Dario Paolucci, *La conservazione del paesaggio culturale in Italia e Giappone*) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.94-107 東京文化財研究所 06.3

(4 翻訳)1972年修復憲章(Carta del Restauro)(森田義之、大竹秀実) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.177-187 東京文化財研究所 06.3

(4 翻訳)イタリア文化財保護制度概略年表(Valentino Baldacci, *Il sistema dei beni culturali in Italia*, Firenze-Milano, 2004, pp.32-34) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.126-127 東京文化財研究所 06.3

(4 翻訳)文化財景観財法典(Codice dei beni culturali e del paesaggio)(今井健一朗、大竹秀実、二神葉子) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.128-171 東京文化財研究所 06.3

(4 翻訳)美術品修復の理論(1)(Giuseppina Perugini, *Il restauro dei dipinti e delle sculture lignee: storia, teorie e tecniche*, Udine, 1989, pp.63-72)(森田義之、大竹秀実、西村明子、池田奈緒訳) 『愛知県立芸術大学紀要』35 pp.15-26 06.3

(7 所属学会)文化財保存修復学会、IIC

(8 教育)東京芸術大学大学院文化財保存学保存修復油画科非常勤講師、東洋美術学校絵画科保存修復専攻非常勤講師、筑波大学大学院人間総合科学研究科世界遺産専攻講演

岡田 健 OKADA Ken (国際文化財保存修復協力センター)

(2 報告)中国石窟寺院の文化的価値と保護の意味 第17回国際文化財保存修復研究会報告書『叢書[文化財保護制度の研究]中国石窟寺院の保存修復 その現状と課題』 pp.11-32 東京文化財研究所 05.10

(2 報告)The Japan-Panama Asia-Latin America Trans-Regional Project: Conservation of World Heritage Cities, Details of the Joint Research Project, *Cooperative Agreement between Japan and Panama – Record, The Japan-Panama Asia-Latin America Trans-Regional Project Conservation of World Heritage Cities – Project for Cooperation for the Preservation and Restoration of Panama Historic Districts – 2001 to 2005*, pp.8-11, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 06.3.

(3 論文)中国石窟寺院保護、その国際共同の新しい姿 第17回国際文化財保存修復研究会研究会 中国石窟寺院の保存修復 その現状と課題 総括 第17回国際文化財保存修復研究会報告書『叢書[文化財保護制度の研究]中国石窟寺院の保存修復 その現状と課題』 pp.95-98 東京文化財研究所 05.10

(3 論文)Forms of Cultural Heritage that Continue into the Future: *Japan's Case, The Future Vision of Cultural Heritage and Protection System – Proceedings of the Thirteenth Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage*, pp.9-25, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 05.10.

(3 論文)人間と景観のかかわり、そのあり方 第18回国際文化財保存修復研究会研究会 文化的景観の成立、その変遷 総括 第18回国際文化財保存修復研究会報告書『叢書[文化財保護制度の研究]文化的景観の成立、その変遷』 pp.99-102 東京文化財研究所 06.3

(3 論文) Human resource development /international cooperation, *Living with Cultural Heritage –Asia, perspectives at changing period: Theories and outlines, Proceedings of Fourteenth Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage March 2006*, pp.141-154, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 06.3

(3 論文)「龍門石窟の保存修復に関する調査研究」と龍門石窟研究院人材育成協力事業 『龍門石窟の保存修復に関する調査研究報告書』(平成13年度～平成17年度) pp.3-7 東京文化財研究所 06.3

(3 論文)4期にわたる「敦煌莫高窟第194、53窟の保護に関する日中共同研究」実施の経緯と共同研究の今後 『敦煌莫高窟壁画保存修復に関する日中共同研究 2005年度報告書』 pp.47-50 東京文化財研究所 06.3

(4 解説)石窟の風化と保護(龍門石窟) 『中国世界遺産の旅』2(中原とシルクロード) p.162 講談社 05.8

(4 解説)莫高窟の仏教美術 そこは「砂漠の画廊」だ 世界文化遺産・敦煌の新しい見方 『週間シルクロード紀行』1 pp.22-27 朝日新聞社 05.10

(5 学会発表)石窟寺的文化価値と跨越学術領域の必要性 2005 雲岡国際学術研討会 山西雲岡石窟文物研究所 05.7.29

(6 発表)人的資源の開発・国際協力 第14回アジア文化財保存セミナー「文化遺産とともに生きる アジア 変革期における展望:その理論と概観」 東京文化財研究所 05.10.25

(6 発表)中国の仏教壁画 第29回文化財の保存および修復に関する国際研究集会「シルクロードの壁画が語る東西文化交流」 東京文化財研究所 06.1.24

(7 所属学会)美術史学会、文化財保存修復学会

(8 教育)金沢美術工芸大学講師

小田 幸子 ODA Sachiko (調査員)

(2 報告)「三番叟問答」の考察と翻刻 『伝統芸能の特殊な上演に関する調査研究』 pp.57-80 東京文化財研究所 06.3

勝木 言一郎 KATSUKI Gen'ichiro (美術部)

(1 著書)『初唐・盛唐期の敦煌における阿弥陀浄土図の研究』 515p 創土社 06.2

(2 報告)日本における浄土図の変容と展開 法隆寺金堂壁画の図像を中心に 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3

(2 報告)古代日本における極楽イメージの変容 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3

(4 解説)シルクロードからの贈り物 龍 『週刊朝日百科シルクロード紀行』1 p.37 朝日新聞社 05.10

(4 解説)シルクロードからの贈り物 薔薇 『週刊朝日百科シルクロード紀行』6 p.23 朝日新聞社 05.11

(4 解説)青海省における寺院壁画の調査 『TOBUNKEN-NEWS』23 pp.5-6 05.11

(4 解説)シルクロードからの贈り物 鳳凰 『週刊朝日百科シルクロード紀行』10 p.23 朝日新聞社 05.12

(4 解説)シルクロードからの贈り物 獅子 『週刊朝日百科シルクロード紀行』14 p.23 朝日新聞社 06.1

(4 解説)シルクロードからの贈り物 柘榴 『週刊朝日百科シルクロード紀行』18 p.23 朝日新聞社 06.2

(4 解説)シルクロードからの贈り物 象 『週刊朝日百科シルクロード紀行』21 p.23 朝日新聞社 06.3

(4 解説)シルクロードからの贈り物 マンダラゲ 『週刊朝日百科シルクロード紀行』22 p.23 朝日新聞社 06.3

(4 解説)金剛童子像(ケルン東洋美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成17年度(絵画/工芸品)』 p.84-86 東京文化財研究所 06.3

(6 発表)安西榆林窟における金剛童子の図像について 美術部研究会 東京文化財研究所 06.3.29

加藤 寛 KATO Hiroshi (修復技術部)

(1 著書)蒔絵鼓胴 『日本の美術』477 98p 至文堂 06.1

(2 報告書)第4次日中共同研究経過報告 『敦煌莫高窟壁画の保存修復研究報告書』 pp.3-8 東京文化財研究所

06.3

(2 報告書)平成 17 年度在外日本古美術品保存修復協力事業現地調査(工芸) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成 16 年度(絵画/工芸品)』 pp.13-14 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書)伝統的修復材料に関する調査研究の成果について 『伝統的修復材料に関する調査研究』 pp.11-15 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書)The Story of Japanese Lacquerware, *International Course on Conservation of Japanese Lacquer; 2005*, pp.11-19 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書)キヨソネコレクションの尺時計 『文化財における複合素材の保存修復のための材料技法の開発に関する調査研究』 pp.1-12 東京文化財研究所 06.3

(3 論文)ギメ美術館蔵日本美術品の修復 『日仏工業技術』 51 pp.80-83 05.8

(3 論文)弁当箱の工夫 『弁当箱の工夫』展図録 pp.2-5 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 05.9

(3 論文)第一回文化財の防災計画に関する研究会 『文化庁月報』 445 pp.16-17 05.10

(3 論文)文化財修復材料としての膠の物性(楠京子、加藤寛、早川典子、川野邊渉) 『文化財修復学会誌』 50

06.3

(3 論文)漆芸技法に用いられる金属への文化財燻蒸薬剤の残留影響評価 臭化メチル・酸化エチレン製剤の影響

(神谷嘉美、加藤寛、佐野千絵) 『保存科学』 45 pp.187-194 06.3

(3 論文)劣化した漆塗膜に対する強化手法の外観への影響(神谷嘉美、加藤寛) 『保存科学』 45 pp.251-258

06.3

(6 発表)海を渡った江戸のモノづくり 「第 1 回トヨタコレクション展開催記念フォーラム トヨタコレクションに見る江戸のモノづくり」 産業技術記念館大ホール 05.6.5

(6 発表)ピルニツ宮殿の輸出漆器 ドレスデン国立美術館展講演会 国立西洋美術館大講堂 05.7.3

(6 発表)海を渡った煌めく漆器 第 2 回伝統文化セミナー「海を渡った煌めく漆器」 ポーラミュージアムアネックス 05.10.6

(6 発表)弁当箱の工夫 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館第 68 回公開講座 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 05.10.15

(6 パネラー)文化財修理の条件 修理方針はどのように作られるのか 特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」記念座談会 東京国立博物館平成館大講堂 05.10.29

(6 講義)漆について 国際研修「漆の保存と修復」 東京文化財研究所 05.9.13

(7 所属学会)美術史学会、漆工史学会、文化財保存修復学会

(8 教育)東京芸術大学大学院美術研究科システム保存学教授(連携併任)

加藤 雅人 KATO Masato (修復技術部)

(1 著書)敦煌学への自然科学的分析の導入 石塚晴通教授退職記念会編 『日本学・敦煌学・漢文訓読の新展開』 pp.988-973 汲古書院 05.5

(1 著書)先端技術による古代紙試料の分析とデジタルアーカイブ 尾鍋史彦総編 『紙の文化事典』 pp.11-12 朝倉書店 06.3

(2 報告書)ネパール将来サンスクリット経典・医学書の顔料および用紙の科学分析(加藤雅人、村井敦、江南和幸、河野益近) 『平成 16 年度古典籍デジタルアーカイブ研究センター研究成果報告書』 pp.8-44 龍谷大学 05.5

(2 報告書)江戸末～明治期の浮世絵版本の彩色に用いられた石黄について(江南和幸、加藤雅人、河野益近) 『平成 16 年度古典籍デジタルアーカイブ研究センター研究成果報告書』 pp.60-66 龍谷大学 05.5

(2 報告書)敦煌写本の文献学的研究と科学分析的接点(Collaboration of philological study and scientific analysis on Dunhuang manuscripts)(加藤雅人、石塚晴通) 『伝統的修復材料に関する調査研究』 pp.31-39 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書)紙への添加材料について 『第 35 回文化財保存修復研究協議会 伝統的日本画修復材料への科学的アプローチ～近年の動向』 pp.22-30 東京文化財研究所 06.3

(3 論文)キトラ古墳保護覆屋内の環境について 温度・湿度と炭酸ガス濃度 (佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、森井順之、加藤雅人、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.77-92 06.3

(3 論文)「独々涅烏斯(ドドネウス)草木譜」原本の科学的調査(1)(吉田直人、加藤雅人、佐々木良子、吉川也志保、岡本幸治) 『保存科学』45 pp.167-176 06.3

(5 学会発表)紙資料中繊維幅の非破壊測定法に関する研究 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15

(5 学会発表)「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング(三浦定俊、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志、森井順之、山本記子、加藤雅人、早川典子、川野邊渉、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表)「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 キトラ古墳石室等における生物被害とその対処(佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英、山本記子、加藤雅人、早川典子、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、三浦定俊) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(6 発表)紙への添加材料について 第35回文化財保存修復研究協議会 東京文化財研究所 05.7.29

(6 発表)紙への科学的アプローチ(2nd term)その1「紙への添加材料1」 Asia Paper Forum 2005年度第1回 龍谷大学大宮学舎 05.8.6

(6 講義)美術材料技法史、材料及び技術、紙 第二回文化財(美術工芸品)修理技術者講習会(第2年度) 東京文化財研究所 05.10.26

(7 所属学会)文化財保存修復学会(編集委員)、日本文化財科学会、木材学会

鎌倉 恵子 KAMAKURA Keiko (芸能部)

(4 聞き書き)人形浄瑠璃文楽 その上演目 演出 首など 吉田玉男師と吉田文雀師に聞く 『伝統芸能の特殊な上演に関する調査研究』 pp.129-147 東京文化財研究所 06.3

(4 聞き書き)人形浄瑠璃文楽の昭和から平成へ 吉田文雀師に聞く 『芸能の科学』33 pp.151-181 06.3

(4 書評)松崎仁著 舞台の光と影 近世演劇新攷 『演劇映像』46 pp.41-44 05.3(前年度業績)

(4 紹介)舞台の光と影 近世演劇新攷 『近松研究所紀要』16 pp.69-70 05.12

(7 所属学会)楽劇学会、日本演劇学会、日本近世文学会

(7 委員会)文部科学省教育映画等審査委員 独立行政法人日本芸術文化振興会国立劇場歌舞伎公演専門委員 園田学園近松研究所客員研究員

川野 邊 渉 KAWANOBE Wataru (修復技術部)

(2 報告書)大型建造物の保存の問題点 『未来につなぐ人類の技5 大型建造物の保存と修復』 pp.12-27 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書)Restoration and Conservation of Railway Facilities as Cultural Properties, *Conservation of Railways II*, pp.6-15 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書)製造条件による古糊の差異について(早川典子、川野邊渉) 『伝統的修復材料に関する調査研究』 pp.48-57 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書)文化財修復材料としてのフノリ抽出物の特性(早川典子、荒木臣紀、貝沼諭、田畔徳一、川野邊渉) 『伝統的修復材料に関する調査研究』 pp.58-74 東京文化財研究所 06.3

(3 論文)文化財修復材料としての膠の物性(楠京子、加藤寛、早川典子、川野邊渉) 『文化財修復学会誌』50 06.3

(5 学会発表)古糊様多糖類の調製とその物性について(早川典子、川野邊渉、木川りか、西本友之、久保田倫夫、君嶋隆幸、岡泰央、坂本くらら) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.15

(5 学会発表)特別史跡キトラ古墳「壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング(三浦定俊、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志、森井順之、山本記子、加藤雅人、早川典子、川野邊渉、青木繁夫、

- 村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
 (5 学会発表) 巖島神社における丹塗柱退色現象と柱内水分量の相関(森井順之、是澤紀子、川野邊渉、島津美子、洪正基) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
 (6 発表) 呉の近代化遺産 第17回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「呉市における近代の文化遺産の保存修復と活用」 呉市海事歴史科学館 05.7.19
 (6 発表) キトラ古墳壁画の保存処置 発掘された日本列島 2005 新発見考古速報展関連講演会「キトラ古墳を考える」 東京都江戸東京博物館ホール 05.7.30
 (6 発表) 壁画修復の現場から 明日香村まるごと博物館フォーラム 読売ホール 05.8.21
 (6 発表) 壁画の取り外しと保存修理 保存科学研究集会 2005「保存科学における諸問題 キトラ・高松塚古墳壁画の保存科学と修理」 奈良文化財研究所資料館講堂 05.12.9
 (6 発表) 近代化遺産の修復における問題点について 第18回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「近代化遺産の修復のための諸問題」 東京文化財研究所 05.12.16
 (6 司会) パネルディスカッション(コーディネーター) (財)ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所 文化遺産に関する国際シンポジウム「近代の文化遺産を考える」 鉄道遺産の保存と活用 奈良県新公会堂 06.1.28
 (6 講義) 保存科学特論 平成17年度文化財建造物修理主任技術者講習会(上級コース) 京都市文化財建造物保存技術研修センター 05.8.26
 (6 講義) 修復技術 平成17年度文化財建造物保存事業技術者養成研修2-4回 (財)文化財建造物保存技術協会 研修・資料センター 05.9.30
 (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、IIC、IIC-Japan

木川りか KIGAWA Rika (保存科学部)

- (3 論文) 平等院鳳凰堂 国宝木造阿彌陀如来坐像 台座、光背および像内納入品 月輪の害虫処理報告 二酸化炭素処置と低酸素濃度処置 (佐野千絵、木川りか、木村広、村林茂、石崎武志、三浦定俊) 『鳳翔学叢』2 pp.63-80 05.12
 (3 論文) 高松塚古墳の微生物対策の経緯と現状(木川りか、佐野千絵、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.33-58 06.3
 (3 論文) キトラ古墳における菌類等生物調査報告(2)(木川りか、間淵創、佐野千絵、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.93-106 06.3
 (3 論文) 文化財公開施設内生物調査における浮遊菌測定手法の検討(馬淵創、小鷲悠、篠原史彦、岩田利枝、木川りか、佐野千絵) 『保存科学』45 pp.195-206 06.3
 (4 解説) Developing a Workshop on Integrated Pest Management for Japanese Collection Managers(Tom Strang and Rika Kigawa), *CCI Newsletter* No. 35, 05.5.
 (5 学会発表) 古糊様多糖類の調整とその物性について(早川典子、川野邊渉、木川りか、西本友之、久保田倫夫、君島隆幸、岡泰央、坂本くらら) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
 (5 学会発表) 二酸化炭素処理による多孔質材質のひずみの測定(犬塚将英、木川りか、佐野千絵、石崎武志) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
 (5 学会発表) 文化財展示保存環境における IPM プログラム: 状況と対策の段階的モデル(木川りか、Tom Strang) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
 (5 学会発表) 平等院鳳凰堂 国宝木造阿彌陀如来坐像 台座・光背および像内納入品 月輪の害虫処理報告 二酸化炭素処置と低酸素濃度処置 (佐野千絵、木川りか、村林茂、木村広) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
 (5 学会発表) Levels of IPM control, Matching conditions to performance and effort (Tom Strang and Rika Kigawa), The 20th Annual meeting of SPNHC, Realising Standards, Natural History Museum, London, 05.6.12-18

- (5 学会発表) 燻蒸剤等各種殺虫処理が標本のタンパク質に及ぼす影響(木川りか、Tom Strang、Gregory Young) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表) 高松塚古墳における 30 年間の気温変動と石室内環境(三浦定俊、赤松俊祐、木川りか、佐野千絵、石崎武志、杉山純多) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 キトラ古墳石室等における生物被害のその対処(佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英、山本記子、加藤雅人、早川典子、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、三浦定俊、) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング(三浦定俊、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志、森井順之、山本記子、加藤雅人、早川典子、川野辺渉、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表) Mural-paintings in the Takamatsu-zuka and Kitora tumuli: The current status of mycoflora and the roots of their fungi (Kiyuna, T., An, K-D, Kigawa, R., Sano, C., Miura, S. and Sugiyama, J.), 2005 Annual MSA-MSJ, Meeting, Hilo, Hawaii, 05.7.31-8.4.
- (5 学会発表) 古墳壁画の保存と労働環境(佐野千絵、木川りか、間淵創、三浦定俊) 室内環境学会 2005 年度総会 産業医科大学 05.11.19-20
- (6 発表) キトラ古墳等における生物被害とその対処(ポスター)(佐野千絵、木川りか) 保存科学研究集会 2005 「保存科学における諸問題 キトラ・高松塚古墳壁画の保存科学と修理」 奈良文化財研究所 05.12.9
- (6 講演) 文化財保存における IPM 第 27 回文化財(書籍・古文書等を含む)虫菌害保存対策研修会 (財)文化財虫菌研究所 05.7.1
- (6 講演) 古墳壁画の現状と問題点、生物的要因に対する保存対策の経緯(佐野千絵、木川りか) 保存科学研究集会 2005、保存科学における諸問題 キトラ・高松塚古墳壁画の保存科学と修理 奈良文化財研究所 05.12.9
- (6 講演) 書籍の有害生物管理 IPM(総合的有害生物管理)を中心に 東京大学東洋文化研究所シンポジウム・アジア古籍保全講演会&ワークショップ 東京大学東洋文化研究所 05.12.16
- (6 講義) 今後の生物被害対処法 IPM の基本と対処法の実際 文化財保護行政担当者のための IPM 入門研修 東京文化財研究所 (05.6.28)、京都国立博物館 (05.9.6)、九州国立博物館 (05.11.2)
- (6 講義) 害虫およびカビの防除法 文化財(美術工芸品)修理技術者講習会 文化庁 05.10.27
- (6 講義) 公文書館等の有害生物管理 平成 17 年度公文書館専門職員養成課程 独立行政法人国立公文書館 05.11.10
- (6 講義) 図書館における総合的害虫管理(IPM)の考え方と実践方法 国立国会図書館関西館職員研修 国立国会図書館関西館 06.1.18
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本防菌防黴学会、The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、IIC-Japan、The Society for the Preservation of Natural History Collections (SPNHC)
- (7 委員会) 国宝高松塚古墳壁画恒久対策検討会ワーキンググループ委員、国立歴史民俗博物館資料保存環境検討委員会委員、文化財保存修復学会誌編集委員(幹事)、文化財保存修復学会第 27 回大会実行委員
- (8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学保存環境学講座連携助教授、国立民族学博物館共同研究員

朽津信明 KUCHITSU Nobuaki (国際文化財保存修復協力センター)

- (2 報告書) 平成 14~17 年度科学研究費補助金・基盤研究(B)(2) 『歴史的建造物における外装塗装の変遷に関する研究』報告書 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告書) 『文化財の保存を目的としたレンガの劣化現象と保存対策に関する調査・研究 成果報告書』 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告) 大分県下の文化財で見られる彩色顔料の特徴について 『日韓共同研究報告会 2005』 pp.37-47 06.3
- (2 報告) フゴッペ洞窟の公開に伴う光制御(浅野敏昭、朽津信明) 第 19 回国際文化財保存修復研究会報告書 『叢

書 [文化財保護制度の研究]文化遺産の公開・活用と保存環境』 pp.13-30 06.3

(2 報告)「保存環境研究」の置かれている環境 第19回国際文化財保存修復研究会報告書『叢書 [文化財保護制度の研究]文化遺産の公開・活用と保存環境』 pp.121-122 06.3

(3 論文) High Quality Color Restoration using Spectral Power Distribution for 3D Textured Model(Akifumi Ikari, Tomohito Masuda, Tohru Mihashi, Kenji Matsudo, Nobuaki Kuchitsu, Katsushi Ikeuchi), *The Eleventh International Conference on Virtual Systems and MultiMedia (VSMM2005)*, pp. 453-462, 05.10.

(3 論文) Recognition of Mural Color in Ozuka Tumulus in Sunlight and Taper Light(Akifumi Ikari, Tomohito Masuda, Tohru Mihashi, Kenji Matsudo, Nobuaki Kuchitsu, Kazutaka Kawano, Tsutomu Yamashoji, Mayumi Masuyama, Ryuichi Kamo, Katsushi Ikeuchi), *The Eleventh International Conference on Virtual Systems and MultiMedia (VSMM2005)*, pp.463-472, 05.10.

(3 論文) 王塚古墳壁画の任意光源下での色彩の認識 (増田智仁、猪狩壮文、池内克史、三橋徹、松戸堅治、朽津信明、河野一隆) 人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん)2005 pp.87-93 05.12

(3 論文) 古代地方寺院の外装塗装の色について 『保存科学』45 pp.177-186 06.3

(3 論文) 鎌倉市百八やぐらにおける乾湿繰り返しと岩石風化について(朽津信明、関博充、陳建平) 『保存科学』45 pp.267-276 06.3

(4 解説) 河田小龍という絵師 『國華 清和会』5 p.14 05.5

(5 学会発表) 古代地方寺院で用いられた彩色の特徴について 文化財保存修復学会第27回大会 東京藝術大学 05.5.14

(5 学会発表) 古代地方寺院の外装塗装の色について 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表) スペクトル計測に基づく王塚古墳壁画の任意光源下での色再現(朽津信明、増田智仁、猪狩壮文、池内克史、三橋徹、松戸賢治) 日本文化財科学会第21回大会 北海道大学 05.7.10

(5 学会発表) 碓氷峠鉄道施設における凍結破碎の進行過程について(朽津信明、森井順之) 日本地質学会第112年年会 京都大学 05.9.19

(5 学会発表) 鎌倉市百八やぐらにおける乾湿繰り返しと岩石風化について(朽津信明、関博充、陳建平) 日本応用地質学会平成17年度研究発表会 愛知厚生年金会館 05.10.27

(5 学会発表) フゴッペ洞窟の公開に伴う光制御(浅野敏昭、朽津信明) 第19回国際文化財保存修復研究会 東京文化財研究所 05.12.21

(5 学会発表) 仏教伝来前後の日本で用いられた顔料の特徴について 第29回文化財の保存および修復に関する国際研究集会 オリンピック記念総合青少年センター 06.1.25

(6 発表) 大分県下の文化財で見られる彩色顔料の特徴について 日韓共同研究・2005年度研究報告会「石造文化財の劣化と周辺環境」 豊後高田市真玉公民館ホール 05.11.18

(6 講演) 古代と近代、二度の開国 奈良大学文化財学科講演会 奈良大学 05.6.15

(6 講演) 材料及び技術：絵の具II 文化財修理技術者講習会 東京文化財研究所 05.10.28

(6 講演) 顔料から日本美術の源流をさぐる～九州装飾古墳の世界～ 文化財の保存と修復II 九州の文化財 九州国立博物館 05.11.26

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、国際文化財保存学会、日本文化財科学会、日本地質学会、日本応用地質学会、日本地形学連合、日本第四紀学会

(7 委員会) 弁慶ヶ穴古墳保存整備検討委員、史跡泉崎横穴修復委員

佐野千絵 SANO Chie (保存科学部)

(1 公刊図書) 文化遺産を次世代に伝える 文化財保存学 岩波書店編集部編『いま、この研究がおもしろい』 岩波ジュニア新書 509 pp.123-136 05.6

(1 公刊図書) 第12章 文化財の保存と修復(佐野千絵、三浦定俊) 大澤善次郎監修『高分子材料と複合材製品の耐久性』 シーエムシー出版 05.8

(2 報告) キトラ古墳等における生物被害とその対処(佐野千絵、木川りか) 『保存科学に於ける諸問題 キトラ・高松塚古墳壁画の保存科学と修理』 平成17年度保存科学研究集会 pp.47-50 05.12

- (2 報告) 生物的要因に対する保存対策の経緯(佐野千絵、木川りか) 『保存科学に於ける諸問題 キトラ・高松塚古墳壁画の保存科学と修理』平成17年度保存科学研究集会 pp.15-16 05.12
- (2 報告) 高松塚古墳の微生物対策の経緯と現状(木川りか、佐野千絵、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.33-58 06.3
- (2 報告) キトラ古墳における菌類等生物調査報告(2)(木川りか、間瀬創、佐野千絵、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.93-106 06.3
- (2 報告) 古墳の保存と活用のための生物等被害状況アンケート調査 九州(佐野千絵、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.107-120 06.3
- (2 報告) 展示公開施設の館内環境調査報告 平成16年度(吉田直人、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』45 pp.277-282 06.3
- (2 報告) 『文化財の生物被害防除手法には何が選択されたのか 文化財の生物被害防除手法に関するアンケート2005』東京文化財研究所 06.3
- (3 論文) キトラ古墳保護覆屋内の環境について 温度・湿度と炭酸ガス濃度(佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、森井順之、加藤雅人、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.77-92 06.3
- (3 論文) ポータブル・マルチLED分光装置の試作と蛍光スペクトル法による水彩絵の具同定への応用(北見周子、横島瑛莉奈、岡村秀樹、佐野千絵) 『保存科学』45 pp.149-156 06.3
- (3 論文) 文化財公開施設の空気環境評価における変色試験紙法の再評価 パッシブインジケータ®との相関(佐野千絵、吉田直人、石崎武志) 『保存科学』45 pp.215-226 06.3
- (3 論文) 漆芸技法に用いられる金属への文化財燻蒸薬剤の残留影響評価 臭化メチル・酸化エチレン製剤の影響(神谷嘉美、加藤寛、佐野千絵) 『保存科学』45 pp.187-194 06.3
- (3 論文) 文化財公開施設内生物調査における浮遊菌測定手法の検討(間瀬創、小鷲悠、篠原史彦、岩田利枝、木川りか、佐野千絵) 『保存科学』45 pp.195-206 06.3
- (4 解説) キトラ古墳の保存と管理 『歴博』No.130 pp.10-14 05.5
- (4 解説) 博物館施設と調湿建材 『JIC 技報』17 pp.3-14 05.7
- (4 解説) 文化財保護行政担当者のためのIPM入門 『文化庁月報』平成17年8月号 p.44 05.8
- (4 解説) 科学と芸術の境界で文化財を守る 的川泰宣監修、(財)日本宇宙少年団編集 『ネクスト アインシュタイン ようこそ研究室へ ハイテクノロジーの達人』 pp.28-33 新日本出版社 06.2
- (5 学会発表) 平等院鳳凰堂 国宝木造阿弥陀如来坐像台座・光背および像内納入品月輪の害虫処理報告 二酸化炭素処置と低酸素濃度処置(佐野千絵、木川りか、木村広、村林茂) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
- (5 学会発表) 高松塚古墳壁画描画技術に関する実証的研究 プオン・フレスコとア・セッコ(佐野千絵、大野彩) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
- (5 学会発表) 臭化メチル製剤による紙への臭素残留について(間瀬創、佐野千絵) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
- (5 学会発表) 二酸化炭素処理による多孔質材質のひずみの測定(犬塚将英、木川りか、佐野千絵、石崎武志) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15
- (5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 キトラ古墳石室等における生物被害とその対処(木川りか、佐野千絵、吉田直人、犬塚将英、山本記子) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング(三浦定俊、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表) 高松塚古墳における30年間の気温変動と石室内環境(三浦定俊、赤松祐、木川りか、佐野千絵、石崎武志、杉山純多) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表) 尾形光琳筆紅白梅図屏風のX線調査(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊、内田篤呉) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

- (5 学会発表) Mural-paintings in the Takamatsuzuka and Kitora tumuli: The current status of mycoflora and the roots of their fungi (喜友名朝彦、木川りか、佐野千絵、三浦定俊、杉山純多) 日米菌学会合同大会(ハワイ大会) ハワイ大学ヒロ校 05.7.30-8.5
- (5 学会発表)文化財展示保存施設における室内環境管理 (間淵創、佐野千絵) 室内環境学会 2005 年度総会 産業医科大学 05.11.19-20
- (5 学会発表) 古墳壁画の保存と労働環境(佐野千絵、木川りか、間淵創、三浦定俊) 室内環境学会 2005 年度総会 産業医科大学 05.11.19-20
- (6 講演)博物館美術館等におけるカビ被害調査と防止対策 文化財の虫菌害保存対策研修会 (財)文化財虫害研究所 05.7.1
- (6 講演) 空気汚染物質の制御と管理～IPM の基本的な考え方 宮崎県立美術館 05.7.6
- (6 講演) 博物館展示収蔵環境の汚染が資料に与える影響、埼玉県博物館連絡協議会 埼玉県立博物館 05.7.28
- (6 講演)文化財の保存と環境 文化財(美術工芸品)修理技術者講習会 文化庁文化財部 京都 05.10.27
- (6 講演)文化財保存の科学 企画展示セミナー 文化庁文化財部 京都 05.11.7
- (6 講演)展示環境の科学 企画展示セミナー 文化庁文化財部 東京・京都 05.7.4 05.11.7
- (6 講演)臭化メチル廃止以降の文化財の虫菌害対策 IPM の基本的な考え方 滋賀県教育委員会 大津 05.11.10
- (7 所属学会)文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本化学会、高分子学会、照明学会、室内環境学会、大気環境学会、繊維学会、マテリアルライフ学会、The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、International Council of Museums (ICOM)、IIC-Japan (庶務幹事)
- (7 委員会)群馬県文化財保護審議会委員、千葉県文化財保護審議会委員、国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会ワーキンググループ委員、宗家文庫資料等保存施設計画策定委員会委員、文化財虫菌害防除薬剤等認定委員会委員

III 井 舞 SARAI Mai (協力調整官 情報調整室)

- (3 論文)文化財アーカイブの構築 美術史における資料学との関わりから 『重要美術研究作品資料集成に関する研究』 pp.39-46 東京文化財研究所 06.3
- (4 解説)東大寺俊乘堂阿弥陀如来像における立体表現 東大寺俊乘堂阿弥陀如来立像のパネル展示 東京文化財研究所 1階エントランス 05.11.01～
- (4 解説)図像の概要、図像の各部、技法と文様 『国宝 絹本着色十一面観音像』 pp.94-105 中央公論美術出版 06.3
- (6 発表)彫刻史における資料学の構築に向けて 美術部研究会 東京文化財研究所 05.8.10
- (6 発表)仏像の荘厳 白毫相を中心に 美術部研究会 東京文化財研究所 05.9.10
- (6 講演)文化財アーカイブの構築と画像形成 シンポジウム:歴史資源アーカイブ構築へ向けた講演会 デジタル画像研究の現在 東北大学文系四学部総合研究棟大会議室 06.3.27
- (7 所属学会)美術史学会、美学会
- (8 教育)愛知県立大学非常勤講師

塩 谷 純 SHIOYA Jun (美術部)

- (2 報告)川端玉章について 円山派の近代 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3
- (4 解説)狩野勝川院雅信《龍田図屏風》 ジュネーヴ パウアー・コレクション 『美術研究』388 pp.33-38 06.2
- (4 解説)奥村土牛《八瀬の牛》、小茂田青樹《麗日》作品解説 『東京美術倶楽部創立百周年記念 大いなる遺産 美の伝統』展図録 東京美術倶楽部 p.63, p.65 06.2
- (6 発表)在外研究報告 菊池容齋《観音経絵巻》と狩野勝川院雅信《龍田図屏風》について 美術部研究会 東京文化財研究所 05.5.25
- (6 発表)橋本雅邦と九世市川団十郎 青山学院女子短期大学総合文化研究所研究プロジェクト「キリスト教と文化」 青山学院女子短期大学 05.7.25

- (6 発表)川端玉章について 円山派の近代 美術部オープンレクチャー 東京文化財研究所 05.11.5
- (6 発表)黒田清輝って、どんな人? その自筆文献から 総合研究会 東京文化財研究所 06.1.10
- (7 所属学会)美術史学会、明治美術学会

城野 誠治 SHIRONO Seiji (協力調整官 情報調整室)

- (2 報告)X-ray Fluorescence Analysis of Mural Paintings in the Takamatsuzuka Tumulus (Y.Hayakawa, S.Shirono) , *Proceedings of the 28th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Properties*, pp.80-84, 06.3.
- (2 報告)Image Production of the Mural Paintings of the Takamatsuzuka Tumulus (S.Shirono, Y.Hayakawa), *Proceedings of the 28th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Properties*, pp.85-90, 06.3.
- (4 解説)文化財 『日本写真学会誌』68-3 pp.219-221 05.6
- (4 画像形成)青木繁 海の幸 の画像展示 特集展示『名作物語 青木繁《海の幸》の100年』 石橋美術館 05.4.13-7.10
- (4 画像形成)青木繁 海の幸 の画像展示 特集展示『青木繁 《海の幸》100年』 プリヂストン美術館 05.9.17-10.10
- (6 講演)高松塚古墳の謎に迫れ 2005年度写真学会年次大会 器械振興会館 05.5.20
- (6 講演)記録された虚像と真実 高松塚から紅白梅図屏風、そして海の幸 特集展示『名作物語 青木繁《海の幸》の100年』展美術講座 石橋美術館 05.5.28
- (6 講演)文化庁主催企画・展示セミナー 東京文化財研究所 05.7.7
- (6 講演)記録された虚像と真実 高松塚から紅白梅図屏風、そして海の幸 土曜講座 プリヂストン美術館 05.10.8
- (6 発表)故宮博物院所蔵李唐筆「萬壑松風図」に関する調査報告 故宮博物院 05.9.29
- (7 所属学会)社団法人日本写真家協会、日本写真ユニオン、社団法人日本写真学会、日本写真芸術学会、日本法科学技術学会
- (7 委員)九州国立博物館スタジオ施設仕様策定委員
- (8 集中講義)視聴覚教育 愛知教育大学 05.8.6-7、8.20-21
- (8 集中講義)画像作成とその利用について 東京芸術大学 05.12.8-9

鈴木 規夫 SUZUKI Norio (所長)

- (2 報告)文化財の国際協力 『文化庁月報』439 pp.20-21 05.4
- (6 講演)日本の漆文化と法隆寺 秋季法隆寺文化講演会 法隆寺 05.11.3
- (7 所属学会)文化財保存修復学会、漆工史学会
- (7 委員会等)文化審議会文化財分科会第一専門調査会、国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会、特別史跡キトラ古墳の保存・活用等に関する調査研究委員会、文化庁・文化財(美術工芸品)の修理に関する検討会、平等院鳳凰堂天蓋修理委員会、財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事業運営審議会、財団法人文化財保護・芸術研究助成財団事業委員会、日本博物館協会評議会、シルクロード学研究センター研究評議会、山梨県文化財保護審議会、『日本の美術』監修会議、文化庁・文化財の買取委員会、文化庁・文化財(美術工芸品)の調査
- (8 教育)東京芸術大学非常勤講師

鈴木 廣之 SUZUKI Hiroyuki (美術部)

- (2 報告)障壁画調査 奈良文化財研究所編『重要文化財小野家住宅管理活用計画調査報告書』 塩尻市教育委員会 06.2
- (2 報告)序論—「影響」論から双方向の関係論へ 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3

- (2 報告) エドワード・モースと蜷川式胤—明治初期の美術研究と交流— 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告) 総論: 『美術研究作品資料』の刊行をふり返って 『重要美術研究作品資料集成に関する研究』 pp.6-11 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告) 新しい美術資料学にむけて—これからの課題— 『重要美術研究作品資料集成に関する研究』 pp.47-55 東京文化財研究所 06.3
- (3 論文) 明治期における物の価値と蜷川式胤 『明治聖徳記念学会紀要』 41 pp.44-62 05.6
- (3 論文) 変貌する明治の図録 神奈川大学 21 世紀 COE プログラム国際シンポジウム・プレシンポジウム報告書 『版画と写真—19 世紀後半—出来事とイメージの創出』 pp.35-45 06.3
- (3 論文) 旅行と美術—明治初期における欧米人の滞日経験と日本美術史の形成— 平成 14~17 年度科学研究費補助金・基盤研究(A) 『モノ・宝物・美術品・文化財の移動に関する研究』 報告書 東京文化財研究所 06.3
- (4 解説) 勝川春章筆春駒図(キヨソネ東洋美術館蔵) 作品解説 『在外日本美術品修復協力事業修理報告書 平成 17 年度(絵画/工芸品)』 pp.45-46 東京文化財研究所 06.3
- (4 解説) 葛飾北斎筆大原女図(キヨソネ東洋美術館蔵) 作品解説 『在外日本美術品修復協力事業修理報告書 平成 17 年度(絵画/工芸品)』 pp.60-62 東京文化財研究所 06.3
- (4 翻訳) クリスティーン・グーテ「異文化評価におけることばの重み—一九世紀欧米のキュリオシティ、キュリオと日本—」 『美術研究』 388 pp.1-16 06.2
- (6 発表) ウー・ホン『ダブル・スクリーン』日本語版あとがきの意義 美術部研究会 東京文化財研究所 05.9.21
- (6 発表) 変貌する明治の図録 神奈川大学 21 世紀 COE プログラム国際シンポジウム・プレシンポジウム「版画と写真—19 世紀後半—出来事とイメージの創出」 神奈川大学横浜キャンパス 05.11.20
- (6 発表) フェノロサ書評—ルイ・ゴンス『日本美術』—八八三 美術部研究会 東京文化財研究所 05.11.30
- (7 所属学会) 美術史学会、明治美術学会、文化資源学会(理事)

高 桑 いづみ TAKAKUWA Izumi (芸能部)

- (2 報告書) 伝統楽器・所在データベース 06.3
- (2 報告) 三番叟・三番三の技法 『伝統芸能の特殊な上演に関する調査研究』 pp.4-56 東京文化財研究所 06.3
- (3 論文) 能「卒都婆小町」の旋律復元 『伝統芸能の特殊な上演に関する調査研究』 pp.348-329 (1-20) 東京文化財研究所 06.3
- (3 論文) 調査報告・現存する一節切 正倉院と虚無僧尺八のはざままで (高桑いづみ、野川美穂子) 『芸能の科学』 33 pp.43-78 06.3
- (4 解説) 能と歌舞伎の音楽 おんかん特別企画 国立能楽堂 05.8.17
- (4 解説) 「船弁慶」のおもしろさ TTR 能プロジェクト 2005 公演 05.9.9
- (4 講座解説) 能狂言をもっとおもしろくする講座「能の音楽の秘密 秀吉の謡は京都弁?」(高桑いづみ、井上裕久) 豊田市能楽堂 06.2.18
- (5 学会発表) フォーラム「日本音楽史における明治時代」(高桑いづみ、薦田治子、遠藤徹、小塩さとみ、志村哲、野川美穂子) 東洋音楽学会第 56 回大会 札幌大谷短期大学 05.10.2
- (6 講演) 芸能文化史 1・2 平成 17 年度博物館職員講習 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 05.5.27
- (6 講演) 世阿弥の功績 歌舞能への道 正法寺ろうそく能 佐渡市正法寺本堂 05.6.25
- (6 講演) 仏像胎内に納入された横笛 中・日・韓簫笛国際学術研究会 中華人民共和国 05.11.7
- (6 講演) 寺院芸能と能 第 36 回芸能部公開学術講座 江戸東京博物館ホール 05.12.1
- (6 講演) 舞事の歴史と現在 能楽学会第 6 回能楽フォーラム 大槻能楽堂 06.3.29
- (6 研究発表) 音の聞こえる芸能史研究 芸能部夏期学術講座 東京文化財研究所研究所セミナー室 05.7.26-28
- (6 座談会) 「能の醍醐味<安宅>」(高桑いづみ、武田志房、福王茂十郎) 『観世』 8 月号、9 月号 05.8、9
- (7 所属学会) 東洋音楽学会理事 楽劇学会理事 能楽学会
- (7 委員) 文化庁本物の舞台芸術体験事業企画委員
- (8 テレビ出演) 秀吉の見た能 放送大学特別講座 05.4~

(8 教育) 早稲田大学演劇博物館 COE 客員研究員

田 中 淳 TANAKA Atsushi (美術部)

(1 著書)『画家がいる「場所」 近代日本美術の基層から』ブリュッケ 05.6

(2 報告)明治絵画再考 青木繁を中心に、明治30年の黒田清輝 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』東京文化財研究所 06.3

(2 報告)中間報告「湖畔」物語 『重要美術研究作品資料集成に関する研究』東京文化財研究所 06.3

(2 報告)平成15~17年度科学研究費補助金・基盤研究(C)『日本近代美術における基層をめぐる研究 画家の地縁と作品の風土』報告書 東京文化財研究所 06.3

(3 批評)展覧会評 昭和前期の絵画をめぐる 『美術研究』387 pp.23-24 05.10

(4 解説)熊谷守一「御岳」等4点 『大いなる遺産 美の伝統展』図録 東京美術倶楽部 06.2

(6 発表)後期印象派・考 人見東明のネットワークと受容されたイメージ 美術部研究会 東京文化財研究所 05.6.29

(6 講演)ブリヂストン美術館特集展示“青木繁《海の幸》100年”を語る 主催:布良・相浜の“海の幸”を語る会、NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム 館山市立富崎小学校 05.12.4

(6 講演)ハード・エッジ 美術史最先端講座第6回 近代日本における「後期印象派」絵画の受容 山脇信徳を中心に 高知県立美術館 05.12.10

(7 所属学会)美術史学会、明治美術学会

(8 教育等)東京学芸大学非常勤講師

谷 口 陽 子 TANIGUCHI Yoko (特別研究員)

(1 公刊図書)壁画の製作年代と下塗り層に含まれる藁スサについて 山内和也編著 『パーミヤーン仏教壁画の編年:放射性炭素による年代測定』(アフガニスタン文化遺産調査資料集 第2巻) pp.29-31 明石書房 06.1

(3 論文)パーミヤーン仏教壁画の材質分析(1) クロスセクションによる彩色技法の調査 (谷口陽子、大竹秀実、前田耕作) 『保存科学』45 pp.1-8 06.3

(3 論文)パーミヤーン遺跡における環境調査(1) 外部環境と石窟内の温湿度環境 (宇野朋子、谷口陽子、大竹秀実、青木繁夫) 『保存科学』45 pp.9-16 06.3

(3 論文)パーミヤーン仏教壁画の保存修復(1) グラウティングによる応急処置 (大竹秀実、谷口陽子、青木繁夫) 『保存科学』45 pp.17-24 06.3

(4 解説)破壊されたパーミヤーン遺跡で大発見:極彩色の仏教壁画が見つかった(岩井俊平、谷口陽子、山内和也) 『ニュートン』10月号 pp.56-63 05.9

(5 学会発表)マルタ共和国における聖アガタ教会地下聖堂壁画の技法および変遷について (Francesca Muscat, 谷口陽子, Mario Buhagiar) 第27回文化財保存修復学会 東京藝術大学 05.5.14

(5 シンポジウム発表)パーミヤーン仏教壁画の保存とその課題 第29回文化財の保存・修復に関する国際研究集会 オリンピック記念総合青少年センター 06.1.26

(7 所属学会)The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、International Council of Museums (ICOM)、文化財保存修復学会

(8 教育等)東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻壁画研究室非常勤講師

津 田 徹 英 TSUDA Tetsuei (美術部)

(2 報告)横浜 龍華寺菩薩半跏像 『重要美術研究作品資料集成に関する研究』東京文化財研究所 06.3

(2 報告)鎌倉地方における宋風/白衣観音の行方/中世における中国道教神の受容をめぐる 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』東京文化財研究所 06.3

(3 論文)十一面観音像が戴く異形の頂上仏面をめぐる 『仏教美術と歴史文化(真鍋俊照博士還暦記念論文集)』 pp.331-352 法蔵館 05.10

(3 論文)平安木彫仏の蔽飾 金色相・銀の輝き・朝霞 『日本宗教文化史研究』9-2 pp.44-61 05.11

(3 論文)中世真宗の本尊 『親鸞と青砥藤綱』展図録 pp.110~126 葛飾区郷土と天文の博物館 05.11

- (3 論文) 白河・鳥羽両院の白衣観音信仰とその造像 『マンダラの諸相と文化(頼富本宏博士還暦記念論文集)』 下巻 pp.353-369 法蔵館 05.11
- (3 論文) 蛍光 X 線分析を用いた平等院鳳凰堂中品中生図の彩色材料調査(早川泰弘、津田徹英) 『鳳翔学叢』2 pp.15-24 05.12
- (4 史料紹介) 東寺観智院金剛蔵本(建武二年写) 『諸説不同記』巻第三・蓮華部院(上)翻刻・校註・影印『史友』38 pp.49-112 06.3
- (4 解説) 諸尊集会図(ドイツ・ケルン東洋美術館所蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成17年度(絵画/工芸品)』 東京文化財研究所 pp.107-109 06.3
- (5 シンポジウム発表) “Non-destructive investigation of the polychromy of Japanese sculptures”(Y. Hayakawa, T. Tsuda, S. Miura), The Forbes Symposium at the Freer Gallery of Art: Studies of the Sculptural Arts of Asia using Scientific Methods, アメリカ・フリア美術館 05.10.1
- (6 講演) 中世における中国道教神の受容をめぐる 第39回美術部オープンレクチャー 東京文化財研究所 05.11.4
- (6 講演) The peculiarity of masks for noh performance: the meaning of wearing a noh mask on its stage ポルトガル・サンロケ教会美術館 05.12.20
- (7 所属学会) 美術史学会、美学会、密教図像学会、日本宗教文化史学会、日本仏教総合研究学会
- (8 教育) 青山学院大学史学科非常勤講師

中野照男 NAKANNO Teruo (美術部)

- (2 報告) 中世の仏伝図と東アジア 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告) 若き美術史研究者の夢—尾高鮮之助の旅と仕事— 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告) ベゼクリク石窟第33窟の衆人奏楽図について 平成15~17年度科学研究費補助金・基盤研究(B)『中国新疆ウイグル族におけるコンテクストの変化にともなう楽器文化の変容』報告書(研究代表者・樋口昭) 創造学園大学 06.3
- (2 報告) 古美術品の光学的調査 画像情報による壁画色料の識別 『書道学論集』3 pp.13-19 06.3
- (4 批評) 第17回「國華賞」選評・福山泰子「アジャンター第十七窟 シンハラ物語 図について 場面解釈の再検討と物語表現の特質」 『國華』132 p.38 05.11
- (6 発表) 最近の西域壁画の調査から 顔料分析と蛍光撮影を中心に 美術部研究会 東京文化財研究所 05.4.27
- (6 発表) 光学的・科学的手法による中央アジア寺院壁画研究調査の成果 唐代史研究会夏期シンポジウム 蔵王温泉ルーセントタカミヤ 05.8.25
- (7 所属学会) 美術史学会、九州藝術学会
- (8 教育等) 千葉県四街道市文化財審議委員

中山俊介 Nakayama Shunsuke (修復技術部)

- (6 発表) 日本における鋼船の保存に関する問題点 第18回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「近代化遺産の修復のための諸問題」 東京文化財研究所 05.12.16
- (7 所属学会) 日本船舶海洋工学会

西山伸一 NISHIYAMA Shin'ichi (特別研究員)

- (2 報告) *Report on the Orontes Delta Archaeological Project 2005, Turkey* (with H. Pamir), Mustafa Kemal University, Hatay, Turkey, 05.10.
- (2 報告) パーミアーンの地理的背景(西山伸一、岩井俊平) 『世界遺産パーミアーン遺跡を守る 総括的なマネージメントプランの策定に関する基本的問題2004』 pp.21-24 東京文化財研究所 05.11
- (2 報告) *West Asia and Caucasus, Corpus of Mural Paintings along the Silk Road: The 29th International*

Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property. Mural Painting of the Silk Road: Cultural Exchange between East and West, Colloquium (第29回文化財の保存および修復に関する国際研究集会「シルクロードの壁画が語る東西文化交流」コロキウム シルクロード沿いの壁画資料集), pp.1~78, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 06.1.

(2 報告) 北西シリア鉄器時代の村落生活: テル・マストゥーマ 2005 年現地整理調査から 『第13回西アジア発掘調査報告会報告集』 pp.103-108 西アジア考古学会 06.3

(3 論文) Animals in the Iron Age and Persian Period: Preliminary Report of Faunal Remains from Tell Mastuma 『古代オリエント博物館紀要』25 pp.87-117 06.3

(4 編集) *Corpus of Mural Paintings along the Silk Road: The 29th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property. Mural Painting of the Silk Road: Cultural Exchange between East and West, Colloquium* (第29回文化財の保存および修復に関する国際研究集会「シルクロードの壁画が語る東西文化交流」コロキウム シルクロード沿いの壁画資料集), National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 06.1.

(7 所属学会) 日本オリエント学会、西アジア考古学会、British Association for Near Eastern Archaeology

野川 美穂子 NOGAWA Mihoko (調査員)

(2 報告書) 伝統楽器・所在データベース 06.3

(3 論文) 調査報告・現存する一節切 正倉院と虚無僧尺八のはざままで (野川美穂子、高桑いづみ) 『芸能の科学』33 pp.43-78 06.3

野口 英雄 NOGUCHI Hideo (客員研究員)

(2 報告) ユネスコの役割と日本の貢献 『人類の歴史を護れ 戦中・戦後における文化遺産の保護と国際協力』第19回「大学と科学」公開シンポジウム講演収録集 pp.108-119 クバプロ 05.10

(2 報告) いかにあるべきか 国際協力と日本の貢献(パネルディスカッション) 『人類の歴史を護れ 戦中・戦後における文化遺産の保護と国際協力』第19回「大学と科学」公開シンポジウム講演収録集 pp.152-167 クバプロ 05.10

(2 報告書) Overall Discussion, *The Future Vision of Cultural Heritage and Protection System – Proceedings of the Thirteenth Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage*, pp.146-166, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 05.10.

(3 論文) 減災と国内外のネットワーク 『文化遺産の世界』19 pp.20-22 05.11

(3 論文) Politics or Political Implications, *Living with Cultural Heritage –Asia, perspectives at changing period: Theories and outlines*, Proceedings of Fourteenth Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage March 2006, pp.9-19, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 06.3.

(3 論文) 人類の遺産保護の効用 可能性と問題点 『学習院女子大学紀要』8 pp.51-62 06.3

(5 学会発表) 世界遺産と国際文化交流 国際文化交流学会 学習院女子大学和ホール 05.6.2

(7 委員会) イコモス(国際記念物史跡協議会) 国際木造遺産専門委員、独立行政法人奈良文化財研究所アンコール遺跡保存委員会委員

(8 教育) 学習院女子大学大学院国際文化交流専攻科教授、都留文科大学大学院文学専攻科比較文化専攻兼任教授、東京芸術大学大学院保存学専攻特別講義講師

早川 典子 HAYAKAWA Noriko (修復技術部)

(2 報告書) 事例報告: 彩色漆喰上の汚れ除去に関する試み(早川典子、山本記子) 『レーザーによる文化財クリーニングに関する報告書』 pp.1-6 東京文化財研究所 06.2

(2 報告書) 文化財修復に用いられる接着剤の物性とその使用条件 『第35回文化財保存修復研究協議会 伝統的

日本画修復材料への科学的アプローチ～近年の動向』 pp.40-47 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書) 装潢における打ち刷毛の効果 接着力を中心に (早川典子、君島隆幸、楠 京子、岡 泰央) 『伝統的修復材料に関する調査研究』 pp.40-47 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書) 製造条件による古糊の差異について (早川典子、川野邊渉) 『伝統的修復材料に関する調査研究』 pp.48-57 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書) 文化財修復材料としてのフノリ抽出物の特性 (早川典子、荒木臣紀、貝沼諭、田畔徳一、川野邊渉) 『伝統的修復材料に関する調査研究』 pp.58-74 東京文化財研究所 06.3

(3 論文) 文化財修復現場における高分子材料 『高分子』 54-4 pp.240-241 05.4

(3 論文) 文化財修復材料としての膠の物性 (楠京子、加藤寛、早川典子、川野邊渉) 『文化財修復学会誌』 50 06.3

(4 解説) 合成高分子の登場と接着剤の劣化 『マテリアルライフ学会誌』 17-3 p.79 05.7

(5 学会発表) 古糊様多糖類の調製とその物性について (早川典子、川野邊渉、木川りか、西本友之、久保田倫夫、君嶋隆幸、岡泰央、坂本くらら) 文化財保存修復学会第 27 回大会 東京芸術大学 05.5.15

(5 学会発表) 特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング (三浦定俊、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志、森井順之、山本記子、加藤雅人、早川典子、川野邊渉、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 キトラ古墳石室等における生物被害とその対処 (佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英、山本記子、加藤雅人、早川典子、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、三浦定俊) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10

(6 発表) 文化財修復に用いられる接着剤の物性とその使用条件 第 35 回文化財保存修復研究協議会 東京文化財研究所 05.7.29

(6 発表) キトラ古墳壁画の取り外し材料と保存材料 (早川典子、降幡順子) 保存科学研究集会 2005 「保存科学における諸問題 キトラ・高松塚古墳壁画の保存科学と修理」 奈良文化財研究所 05.12.9

(6 講義) 修復技術者に必要な自然科学 国宝装こう師連盟新入社員研修 京都国立博物館 05.4.23

(7 所属学会) 高分子学会、日本応用糖質科学会、日本文化財科学会、文化財保存修復学会、マテリアルライフ学会 (学会誌編集委員) IIC

早川 泰弘 HAYAKAWA Yasuhiro (保存科学部)

(2 報告) 燕子花図屏風 蛍光 X 線分析 『国宝燕子花図屏風 保存修理竣工記念』 pp.140-145 根津美術館 05.10

(2 報告) 蛍光 X 線分析を用いた平等院鳳凰堂中品中生図の彩色材料調査 (早川泰弘、津田徹英) 『鳳翔学叢』 2 pp.15-24 05.12

(2 報告) 宮内庁三の丸尚蔵館所蔵 伊藤若冲作品に関する彩色材料調査 (早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊) 『三の丸尚蔵館年報・紀要』 11 pp.68-71 06.3

(2 報告) X-ray Fluorescence Analysis of Mural Paintings in the Takamatsuzuka Tumulus (Y.Hayakawa, S.Shirono) , *Proceedings of the 28th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Properties*, pp.80-84, 06.3.

(2 報告) Image Production of the Mural Paintings of the Takamatsuzuka Tumulus (S.Shirono, Y.Hayakawa) , *Proceedings of the 28th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Properties*, pp.85-90, 06.3.

(2 報告) 「動植綵絵」に関する彩色材料調査 (早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊) 『動植綵絵 若冲、描写の妙技』 pp.57-61 宮内庁三の丸尚蔵館 06.3

(3 論文) ポータブル蛍光 X 線分析装置による国宝絵画の材質調査 『応用物理』 74-10 pp.1365-1369 05.10

(3 論文) 根津美術館所蔵燕子花図屏風の X 線分析 (早川泰弘、松島朝秀、三浦定俊) 『保存科学』 45 pp.157-166 06.3

- (4 解説) 国宝絵画に潜む作者の思いに迫る 『化学』60-7 pp.30-33 05.7
- (4 解説) 美術品の謎を新しい手法で解き明かす(三浦定俊、早川泰弘) 『科学』76 pp.160-166 06.1
- (4 解説) 高松塚古墳壁画の彩色材料(早川泰弘、城野誠治) 『工業塗装』199 pp.55-59 06.3
- (5 学会発表) 尾形光琳筆紅白梅図屏風のX線調査(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊、内田篤呉) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9
- (5 学会発表) Identification of Painting Materials used for Mural Paintings by Image Analysis and XRF (S.Shirono, Y.Hayakawa), The 54th Annual Denver X-ray Conference, Colorado Springs, 05.8.3.
- (5 学会発表) Non-destructive Investigation of the Polychromy of Japanese Sculptures (Y.Hayakawa, T.Tsuda, S.Miura), Third Forbes Symposium on Scientific Research in the field of Asian Art, Washington D.C., 05.9.30.
- (6 発表) ポータブル蛍光X線分析装置による文化財の材質調査 国立故宫博物院(台北) 05.4.22
- (6 発表) XRFによる文化財の材質調査 先端考古学研究会 国際高等研究所 05.6.14
- (7 所属学会) 日本分析化学会、日本化学会、日本鉄鋼協会、文化財保存修復学会、日本文化財科学会
- (8 教育) 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学修復材料学講座連携助教授、金沢美術工芸大学非常勤講師

俵 木 悟 HYOKI Satoru (芸能部)

- (3 論文) 「その他」の鹿島踊 祭礼行列に出る鹿島踊・弥勒踊を中心に 『芸能の科学』33 pp.97-131 06.3
- (3 論文) 民俗芸能の変化についての一考察 『民俗芸能の上演目的や上演場所に関する調査研究報告書』 pp.15-33 06.3
- (4 文献目録) 民俗芸能研究文献目録 平成15年(俵木悟、渡辺伸夫) 『民俗芸能研究』39 pp.1-30 05.9
- (6 発表) 映像記録のこれからの課題 有効な保存と活用に向けて 第8回民俗芸能研究協議会 東京文化財研究所セミナー室 05.11.24
- (6 発表) 「正しい神楽」の伝え方 現代における民俗芸能の伝承過程の一考察 第8回「パフォーマンスの民族誌的研究」研究会 千葉大学社会文化科学研究科 05.12.18
- (7 所属学会) 日本文化人類学会、日本民俗学会、民俗芸能学会(編集委員)、芸能史研究会
- (7 委員会) 民俗学と文化資源に関する特別委員会(日本民俗学会)、国立民族学博物館共同研究員

二 神 葉 子 FUTAGAMI Yoko (国際文化財保存修復協力センター)

- (2 報告) 文化財防災へのGISの利用 文化財の地震危険度評価を中心に(二神葉子、隈元崇) 第34回文化財保存修復研究協議会報告書『文化財の調査研究および保護に対する地理情報システムの利用』 pp.32-44 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告) 文化財景観法典(今井健一郎、大竹秀実、二神葉子、稲葉信子) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.128-171 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告) タ・ネイ遺跡での石材クリーニング試験(二神葉子、西浦忠輝、Say Sophearin、友田正彦、宇野朋子) 『文化財の保存修復に関する国際共同研究 成果報告書』 pp.101-105 東京文化財研究所 06.3
- (2 報告) タ・ネイ遺跡の微気象環境の調査報告(宇野朋子、西浦忠輝、Say Sophearin、登尾浩助、石崎武志、二神葉子) 『文化財の保存修復に関する国際共同研究 成果報告書』 pp.73-82 東京文化財研究所 06.3
- (3 論文) デジタル写真測量技術を用いた文化財建造物の計測と劣化評価(二神葉子、津村宏臣) 『文化財保存修復学会誌』49 pp.86-99 05.9
- (3 論文) 文化財の危機管理 文化財危険地図(二神葉子、大竹秀実) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.52-59 東京文化財研究所 06.3
- (3 論文) イタリアにおける「文化財修復士」の資格(大竹秀実、二神葉子) 『イタリアの文化財保護制度の現在』 pp.32-39 東京文化財研究所 06.3
- (3 論文) ローマ考古学財監督局 ローマにおける考古遺産の管理と活用 『イタリアの文化財保護制度の現在』

pp.62-65 東京文化財研究所 06.3

- (3 論文) オランダ国立考古調査局 『オランダ文化財保護制度調査報告』 pp.23-30 東京文化財研究所 06.3
- (5 学会発表) デジタル写真計測と画像解析による文化財建造物のアーカイブと形状解析 タイ・マハタート寺院煉瓦建造物劣化マッピング (二神葉子、津村宏臣) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (6 発表) 活断層に起因する文化財の地震危険度評価 最勝院五重塔 (二神葉子、隈元崇) 第2回文化財の防災計画に関する研究会 東京文化財研究所 2005.12.6
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会(運営委員)、日本文化財科学会、日本第四紀学会、ICOMOS

前田 耕作 MAEDA Kosaku (客員研究員)

- (2 報告) バーミヤン遺跡の現場からの報告 和光大学総合文化研究所年報『東西南北 2005』 pp.239-249 05.1 (前年度業績)
- (2 報告) 今、なぜシルクロードか 『公明新聞』 05.6.19
- (2 報告) アフガニスタンの古代文化1 『アフガニスタン文化研究所ニュースレター』7 05.8
- (2 報告) アフガニスタンの古代文化2 『アフガニスタン文化研究所ニュースレター』8 05.10
- (2 報告) バーミヤン地域の歴史 『世界遺産バーミヤン遺跡を守る 総括的なマネジメントプランの策定に関する基本的問題2004』 pp.25-29,33 東京文化財研究所 05.11
- (2 報告) アフガニスタンの古代文化3 『アフガニスタン文化研究所ニュースレター』9 05.12
- (2 報告) バーミヤン遺跡とその歴史 山内和也、青木繁夫編著 『バーミヤン遺跡の歴史と保存 国際シンポジウム「世界遺産バーミヤン遺跡を守る」』 pp.33-47 明石書店 05.12
- (2 報告) アフガニスタンの古代文化4 『アフガニスタン文化研究所ニュースレター』10 06.2
- (3 論文) バーミヤン石窟の仏教美術 『オリエンテ』30 pp.8-15 05.3 (前年度業績)
- (3 論文) アフガニスタン考古学の歩み 『西アジア考古学』6 pp.41-48 05.3 (前年度業績)
- (4 解説) 『アフガニスタン・ガイドブック』 三一書房 05.9
- (4 翻訳) ヴィレム・フォーヘルサング 前田耕作、山内和也監訳 『アフガニスタンの歴史と文化』 明石書店 05.4
- (6 講演) バーミヤン遺跡の歴史 龍谷大学顕真館 05.2.26 (前年度業績)
- (6 講演) アフガニスタンの考古学1 第5回 ISCA 定期研究会 千代田区麹町区民館 05.2.19 (前年度業績)
- (6 講演) 世界遺産としてのバーミヤン仏教遺跡 国際コミュニケーション学会第3回異文化コミュニケーション研究会 愛知大学 05.3.19 (前年度業績)
- (6 講演) アフガニスタンの考古学2 千代田区麹町区民館 05.4.23
- (6 講演) バーミヤン 昨日・今日・明日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 05.10.2
- (6 講演) シルクロードの壁画 第29回文化財の保存および修復に関する国際研究集会「シルクロードの壁画が語る東西文化交流」 東京国立博物館平成館 06.1.28
- (6 発表) Report on the Conservation of the Bamiyan Mural Paintings by NRCP/MICT and Non-invasive analysis of the displaced cultural properties from Afghanistan in 2005, Fourth Expert Working Group Meeting on the Preservation of the Bamiyan Site, Kabul, 05.12.7.
- (6 テレビ出演) よみがえるバーミヤン遺跡 NHKクローズアップ現代 06.1.12
- (7 所属学会) 日本オリエント学会、日本西アジア考古学会

三浦 定俊 MIURA Sadatoshi (協力調整官)

- (1 刊行図書) X 線透過撮影写真(三浦定俊、松島朝秀) 根津美術館編 『国宝燕子花図屏風』 pp.146-151 根津美術館 05.10
- (1 刊行図書) FCR による構造調査(松島朝秀、三浦定俊) 『日本の美術』477 pp.62-65 06.2
- (2 報告) 高松塚古墳墳丘部の生物対策としての冷却方法の検討(石崎武志、三浦定俊、犬塚将英、カリル・マグディ) 『保存科学』45 pp.59-68 06.3
- (2 報告) キトラ古墳における菌類等生物調査報告(2)(木川りか、間淵創、佐野千絵、三浦定俊) 『保存科学』

45 pp.93-106 06.3

(2 報告)古墳の保存と活用のための生物等被害状況アンケート調査 九州 (佐野千絵、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.107-120 06.3

(3 論文)透過X線撮影におけるフィルムとIPの特性曲線の比較 松島朝秀、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.133-140 06.3

(3 論文)紫外・可視反射スペクトル法による染料非破壊分析のための基礎研究(2) 緑色系漆に用いられるインディゴの検出 (吉田直人、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.141-148 06.3

(3 論文)根津美術館所蔵燕子花図屏風のX線分析(早川泰弘、松島朝秀、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.157-166 06.3

(4 解説)非破壊でわかること・わからないこと 『歴博』130 pp.15-19 05.5

(4 解説)遺跡の保存と気候変動 敦煌莫高窟、ラスコー洞窟、高松塚古墳 『科学』75-7 pp.802-804 05.7

(4 解説)Unraveling Art's Mysteries, *The Japan Journal*, 2-11, pp.32-35, 06.3.

(4 解説)高松塚古墳の微生物対策の経緯と現状(木川りか、佐野千絵、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.33-58 06.3

(5 学会発表)X線イメージングプレートを用いた近世科学技術資料の調査(3)(三浦定俊、松島朝秀) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15

(5 学会発表)印刷用製版オルソフィルムRO-100とHSのエミシオグラフィ撮影用フィルムとしての特性(松島朝秀、三浦定俊) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15

(5 学会発表)超高感度紫外・可視分光光度計による有機染料非破壊分析(2) 各種文化財への利用可能性(吉田直人、三浦定俊) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15

(5 学会発表)寒冷地域の野外遺跡の保存 環境制御による保存法 (福田正己、三浦定俊) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表)高松塚古墳における30年間の気温変動と石室内環境(三浦定俊、赤松俊祐、木川りか、佐野千絵、杉山純太) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表)「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング(三浦定俊、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志、森井順之、山本記子、加藤雅人、早川典子、川野邊渉、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表)透過X線撮影におけるFCRとフィルムの濃度特性の比較(松島朝秀、三浦定俊) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表)トヨタコレクションの材料・技法の分析と保存に関する研究 江戸のモノづくり第7回国際シンポジウム in 長野 ホテル国際21 長野 05.10.24

(6 講演会)文化財保存の科学 文化庁主催「第4回指定文化財(美術工芸品)企画展示セミナー(東日本)」 東京国立博物館 05.7.4

(6 講演会)古墳壁画の保存 日本 イタリア国際シンポジウム「創造と再生」 イタリア文化会館 05.12.2-3

(6 講演会)高松塚古墳壁画の保存と現状 コロキウム シルクロードの壁画が語る東西文化交流 第29回文化財の保存の修復に関する国際研究集会 国立オリンピック記念青少年総合センター 06.1.24-26

(6 講演会)日本に於ける壁画保存の歴史と現状 シンポジウム シルクロードの壁画が語る東西文化交流 第29回文化財の保存の修復に関する国際研究集会 東京国立博物館 06.1.28

(6 研究会)古墳壁画の現状と問題 高松塚古墳を中心に 平成17年度保存科学研究集会「保存科学に於ける諸問題 キトラ・高松塚古墳壁画の保存科学と修理」 奈良文化財研究所 05.12.9

(6 発表)日本における保存修復の現状と課題 日本・イタリア文化財保存修復に関する専門家会合 文化庁 06.2.24

(7 所属学会)文化財保存修復学会(諮問委員)、日本文化財科学会(評議員)、The International Institute for

Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、応用物理学会、計測自動制御学会、日本リモートセンシング学会、日本光学会、日本アイソトープ協会、美術史学会、日本文化財探査学会、International Council of Museums (ICOM)(日本委員会委員)、International Council on Monuments and Sites (ICOMOS)

(7 委員会)人間文化研究機構国立歴史民俗博物館運営会議、ユネスコ・アジア文化遺産協力事務所文化遺産保護協力事業委員会、特定非営利活動法人ジェイ・シー・ピー(評議委員)、「トヨタコレクション展」実行委員会(副委員長)

(8 教育)東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学保存環境学講座教授(連携併任)

三 村 衛 MIMURA Mamoru (客員研究員)

(3 論文)FEM 解析結果に影響する因子の評価～圧密解析を題材に～(三村衛、幸繁宜弘)『土と基礎』53-8 pp.28-30 05.8

(3 論文)Numerical Assessment for Long-term Settlement of the Reclaimed Pleistocene Deposits (Mamoru Mimura and Woo-Young Jang), *Proc. 16th ICSMGE2*, pp.1095-1098, 05.9.

(3 論文)In-situ Evaluation of Radio-isotope Cone Penetrometers in Clays(Ganeswara R. Dasari, Karthikeyan, M., Thiam Soon Tan, Mamoru Mimura and Kok Kwang Phoon), *Geotechnical Testing Journal*, pp.45-53, 06.1.

(5 学会発表)Numerical Assessment for Long-term Settlement of the Reclaimed Pleistocene Deposits(Mamoru Mimura and Woo-Young Jang), 2nd US-Japan Workshop on Testing, Modeling and Simulation in Geomechanics 05.9.12

(5 学会発表)Considerable Factors to Predict Deformation of Soft Foundations By Numerical Analysis Technical Session 第16回国際地盤工学会議 大阪国際会議場 05.9.14

(6 発表)石材の強度に関する実験による検討 17年度保存科学研究集会「保存科学における諸問題 キトラ、高松塚古墳壁画の保存科学と修理」奈良文化財研究所 05.12.9

(6 発表)Development of RI-Cones and Their application to Geotechnical Problems, Special Lecture in Gumilyov, Eurasian National University, 06.2.27.

(6 発表)高松塚古墳墳丘地盤の現状と保存に向けた取り組みについて(三村衛、石崎武志) 京都大学防災研究所平成17年度研究発表会 パルスプラザ京都 06.2.21

(6 発表)新潟県中越地震における地盤災害～地形と地質の影響～(北田奈緒子、伊藤浩子、井上直人、三村衛、大塚悟) 京都大学防災研究所平成17年度研究発表会 パルスプラザ京都 06.2.22

(6 講演)高松塚古墳の今、未来 地盤工学の見地から 京都大学21世紀 COE サテライト キャンパスプラザ京都 05.6.30

(6 講演)古代の土木技術を考える 高松塚古墳の現在そして将来 第29回京都地盤研究会 パルスプラザ京都 05.12.2

(6 講演)地盤工学から見た高松塚古墳 第8回歴史都市防災セミナー 立命館大学エポック21 05.12.19

(7 所属学会)土木学会、地盤工学会、日本材料学会、地震工学会、GIS学会、日本自然災害学会

(7 委員会)国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会委員、国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会ワーキンググループ委員、平城宮跡軟弱地盤検討委員会、土木学会論文集編集委員会、自然災害科学編集委員会、第16回国際地盤工学会議実行委員会、地盤調査法規格基準検討委員会、歴史的地盤構造物の築構技術および保存技術に関する研究委員会、GISによる地盤情報の共有と活用に関する研究委員会、KG-Net 関西圏地盤研究会、コーン貫入試験(CPT)の普及および活用に関する調査委員会、土構造物維持管理検討委員会(JR西日本)道路路面健全性評価検討委員会、Urban Geoinformatics 国内委員会、Land Reclamation and Coastal Structures in Asia 国内委員会、大阪府大規模地震ハザード評価部会、地盤環境・防災の次世代技術に関する研究委員会、安治川 USJ 前護岸補強技術検討委員会

宮 田 繁 幸 MIYATA Shigeyuki (芸能部)

(2 報告)Some Examples of Designation and Selection of Intangible Folk-Cultural Properties in Japan - In the Case of Folk Performing Arts, *Final Report of 2004 ACCU Workshop on inventory-making for Intangible*

Cultural Heritage Management, pp.55-65, 05.4.

(2 報告) Field Studies of Folk Performing Arts in Japan – Using the “Urgent Inquiry of Folk Performing Arts” as an Example, *Final Report of 2004 ACCU Workshop on inventory-making for Intangible Cultural Heritage Management*, pp.70-77, 05.4.

(2 報告) 無形の文化財保護 その歴史と展望 『女子大通信』 pp.1-24 日本女子大学 05.9

(2 報告) 第 53 回全国青年大会郷土芸能の講評 『民俗芸能』 86 pp.84-85 民俗芸能刊行委員会 05.11

(2 報告) 第 54 回全国青年大会郷土芸能講評 『第 54 回全国青年大会報告書』 pp.96-97 日本青年団協議会 06.1

(3 論文) 民俗芸能とイベント公開 『民俗芸能の上演目的や上演場所の調査研究報告書』 pp.51-82 東京文化財研究所 06.3

(5 発表) 民俗芸能とイベント公開 東京文化財研究所総合研究会 東京文化財研究所 06.3.7

(6 講演) 無形の文化財保護 その歴史と展望 日本女子大学教養特別講義 日本女子大学 05.5.19

(6 講演) 文化行政 文化財保護制度の歩みと現状 早稲田大学オープン教育センター講座 早稲田大学 05.7.14

(6 発表) Mechanism for Safeguarding and Inventory-Making of Intangible Cultural Heritage in Japan Sub-Regional Experts Meeting in Asia on Intangible Cultural Heritage: Safeguarding and Inventory-Making Methodologies Office of National Culture Commission (ONCC), Thailand, 05.12.15.

(7 所属学会) 民俗芸能学会(理事)、にわか学会(企画委員)、楽劇学会

(7 委員会) 講談調査推進委員会、伝統文化活動データベース整備検討委員会、全国民俗芸能大会企画委員会、全国青年大会運営委員会、伝統文化こども教室関連事業企画委員会、日本祭り文化事典編集委員会

宗田好史 MUNETA Yoshihumi (客員研究員)

(3 論文) Sustainable Structure and Efforts with regard to the Revival of Traditional Cultures, *Living with Cultural Heritage - Asia, perspectives at changing period: Theories and outlines- Proceedings 14th Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage*, pp.39-54, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 06.3.

(6 研究会発表) パネリスト 第 12 回各国の文化財保護制度に関する研究会 『イタリアにおける文化財保護の新たな試み: 世界遺産マネージメントプランの策定義務化に向けてその準備状況 文化的景観の保存管理に関する問題点を中心に』 東京文化財研究所 05.5.25

(6 研究会発表) Sustainable Structure and Efforts with regard to the Revival of Traditional Cultures 第 14 回アジア文化財保存セミナー 東京文化財研究所 05.10.24-26

(7 所属学会) 日本建築学会、日本都市計画学会、日本造園学会、日本観光研究学会

森井順之 MORII Masayuki (修復技術部)

(2 報告書) 重要文化財・碓氷峠鉄道施設の保存修復 『未来につなぐ人類の技 5 大型構造物の保存と修復』 pp.28-34 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書) 第 53 窟内部の環境について 『敦煌莫高窟壁画の保存修復研究報告書』 pp.29-36 東京文化財研究所 06.3

(2 報告書) 磨崖仏保存施設と周辺風環境の相関 『日韓共同研究報告書 2005』 pp.27-36 東京文化財研究所 06.3

(3 論文) キトラ古墳保護覆屋内の環境について 温度・湿度と炭酸ガス濃度 (佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、森井順之、加藤雅人、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』 45 pp.77-92 06.3

(3 論文) 巖島神社丹塗柱の退色と柱内水分量の相関 『保存科学』 45 pp.259-266 06.3

(5 学会発表) 巖島神社における丹塗柱退色現象と柱内水分量の相関 (森井順之、是澤紀子、川野邊渉、島津美子、洪正基) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10

- (5 学会発表) 特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング(三浦定俊、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志、森井順之、山本記子、加藤雅人、早川典子、川野邊渉、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 日本文化財科学会第 22 回大会 北海道大学 05.7.9-10
- (5 学会発表) 碓氷峠鉄道施設における煉瓦の塩類風化と凍結破砕の比較(朽津信明、森井順之) 日本地質学会第 112 年年会 京都大学 05.9.19
- (6 発表) 磨崖仏保存施設と周辺風環境の相関 日韓共同研究・2005 年度研究報告会「石造文化財の劣化と周辺環境」 豊後高田市真玉公民館ホール 05.11.18
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、土木学会、日本気象学会、水文・水資源学会

山内和也 YAMAUCHI Kazuya (国際文化財保存修復協力センター)

- (1 刊行図書) 山内和也、前田耕作監訳・ヴィレム・フォーヘルサング著『アフガニスタンの歴史と文化』 明石書店 05.4
- (1 刊行図書) 山内和也、青木繁夫編著『バーミヤーン遺跡の歴史と保存 国際シンポジウム「世界遺産バーミヤーン遺跡を守る」』 アフガニスタン文化遺産調査資料集第 1 巻 明石書店 05.12
- (1 刊行図書) 山内和也編著『バーミヤーン仏教壁画の編年 放射性炭素による年代測定』 アフガニスタン文化遺産調査資料集第 2 巻 明石書店 06.1
- (2 報告書) 日本隊による遺跡踏査 『世界遺産バーミヤーン遺跡を守る 総括的なマネジメントプランの策定に関する基本的問題 2004』 pp.34-45 東京文化財研究所 05.11
- (2 報告書) 考古学から見た文化景観 『世界遺産バーミヤーン遺跡を守る 総括的なマネジメントプランの策定に関する基本的問題 2004』 pp.64-66 東京文化財研究所 05.11
- (2 報告書) バーミヤーン遺跡の保護に対する日本の貢献 山内和也、青木繁夫編著『バーミヤーン遺跡の歴史と保存 国際シンポジウム「世界遺産バーミヤーン遺跡を守る」』 pp.72-89 東京文化財研究所 05.12
- (2 報告書) バーミヤーン仏教壁画の年代測定に至る経緯とその意義 『バーミヤーン仏教壁画の編年 放射性炭素による年代測定』 pp.23-28 東京文化財研究所 06.1
- (2 報告) アフガニスタンの文化遺産の現状と保存修復協力 『人類の歴史を護れ 戦中・戦後における文化遺産の保護と国際協力』 第 19 回「大学と科学」公開シンポジウム講演収録集 pp.27-41 クバプロ 05.10
- (2 報告) パネルディスカッション いかにあるべきか 国際協力と日本の貢献 『人類の歴史を護れ 戦中・戦後における文化遺産の保護と国際協力』 第 19 回「大学と科学」公開シンポジウム講演収録集 pp.152-167 クバプロ 05.10
- (2 報告) 文化財研究所による 2005 年度のアフガニスタン・バーミヤーン遺跡保存事業(山内和也、岩井俊平) 『平成 17 年度 今よみがえる古代オリエント 第 13 回西アジア発掘調査報告会報告集』 日本西アジア考古学会 pp.67-72 06.3
- (2 報告) イラン・ファルス地方シヴァンド川ダム建設に伴う遺跡救済プロジェクト(常木晃、山内和也) 『平成 17 年度 今よみがえる古代オリエント 第 13 回西アジア発掘調査報告会報告集』 日本西アジア考古学会 pp.85-91 06.3
- (2 報告) イラン・キルルズ渓谷の文化的景観の出現と変遷 第 18 回国際文化財保存修復研究会報告書『叢書 [文化財保護制度の研究] 文化的景観の成立、その変遷』 pp.11-32 東京文化財研究所 06.3
- (3 論文) バーミヤーン遺跡における考古学的新知見と文化的景観の成立 『西アジア考古学』6 pp.1-13 05.3 (前年度業績)
- (4 解説) バーミヤーン石窟 生き残った仏教壁画 『山梨日日新聞』朝刊 05.8.19
- (4 解説) バーミヤーン遺跡保存事業の現在 『毎日新聞』夕刊 05.8.26
- (4 解説) 破壊されたバーミヤーン遺跡で大発見: 極彩色の仏教壁画が見つかった(岩井俊平、谷口陽子、山内和也) 『ニュートン』10月号 pp.56-63 05.9
- (4 解説) バーミヤーン遺跡の保存・保護は今 『公明新聞』日曜版 06.2.12
- (5 発表) イラン・キルルズ渓谷の文化的景観の出現と変遷 第 18 回国際文化財保存修復研究会「文化的景観

の成立、その変遷」 東京文化財研究所 05.9.28

(5 発表) Report on the Finding of the NRICP/MICT Archaeological Survey in 2005, Furth Working Group on the Preservation of the Bamiyan site, Kabul, 05.12.07-10

(6 所属学会) 日本オリエント学会(編集委員)、日本西アジア考古学会(企画担当役員)

山 梨 絵美子 YAMANASHI Emiko (協力調整官 情報調整室)

(2 報告)開成所画学局再考 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3

(2 報告)黒田清輝 日本の裸婦をどう描くか 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3

(2 報告)受容の往還:1910~20年代、日本絵画界における東洋的傾向について 『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』 東京文化財研究所 06.3

(2 報告)『黒田清輝《智・感・情》の赤外線撮影・調査 『重要美術作品資料集成に関する研究』 pp.12-15 東京文化財研究所 06.3

(4 解説)独立美術協会 『昭和前期美術展覧会出品目録 戦前篇』 p.438 東京文化財研究所 06.3

(5 学会発表)林忠正と日本における「美術」および「工芸」の概念の確立 ジャポニスム学会主催林忠正シンポジウム 日本女子大学 05.11.13

(6 講演)日本の風景画における線遠近法の受容 幕末から大正期まで 『自然をめぐる千年の旅 山水から風景へ』展記念連続講演会 愛知県美術館 05.4.16

(6 講演)「美術」確立以前、絵に求められたこと 開成所画学局と横山松三郎 第2回トヨタコレクション展開催記念フォーラム『トヨタコレクションに見る江戸のモノづくり 創意工夫の万華鏡』 産業技術記念館 05.7.10

(6 講演)台湾大学美術史学科 05.9.24

(6 発表)李唐筆「万嶽松風図」調査について 国立故宮博物院(台湾) 05.9.29

(6 発表)受容の往還:1910~20年代、日本絵画界における東洋的傾向について 異文化受容と美術ミニシンポジウム『東アジア近代絵画における東洋と西洋』 東京文化財研究所 05.10.28

(6 発表)日本近代の造形分野における「もの」と「わざ」の分類の変遷に関する調査研究 江戸のモノづくり第7回国際シンポジウム in 長野 ポスターセッション ホテル国際21 長野 05.11.23-25

(7 所属学会)ジャポニスム学会

(8 展示監修)トヨタコレクション展(美術の部) 05.8.23-9.25

(8 展示監修)歿後100年記念高野コレクション浅井忠展 日本橋高島屋 06.3.24-4.11

山 野 勝 次 YAMANO Katsuji (調査員)

(1 公刊図書)文化財虫害研究所編『写真でわかるシロアリの被害・生態・調査』 pp.1-80 文化財虫害研究所 05.11

(1 公刊図書)昆虫分野用語 日本しろあり対策協会編『防虫・防腐用語事典(改訂版)』 pp.1-219 日本しろあり対策協会 06.2

(2 報告)宗教法人真如苑宝物館収蔵庫における生物被害調査報告(山野勝次、小峰幸夫) 『文化財虫害研究所報告書』 pp.1-9 05.11

(2 報告)平塚市美術館における生物被害調査報告(山野勝次、小峰幸夫) 『文化財虫害研究所報告書』 pp.1-8 06.1

(4 解説)巻頭言/文化財の害虫防除とがん治療(山野勝次) 『文化財の虫菌害』50 pp.1-2 05.12

(6 講演)昆虫による文化財の被害、文化財の虫害対策 第27回文化財虫菌害防除作業主任者能力認定試験とその講習会 自治労会館 06.3.8

(7 所属学会)文化財保存修復学会、日本家屋害虫学会(評議員、防除士認定委員、学会賞・森八郎記念賞選考委員)、日本応用動物昆虫学会、日本昆虫学会、日本しろあり対策協会(理事、広報・普及委員)

吉田直人 YOSHIDA Naoto (保存科学部)

(2 報告) 展示公開施設の館内環境調査報告 平成16年度 (吉田直人、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』45 pp.277-282 06.3

(3 論文) キトラ古墳保護覆屋内の環境について 温度・湿度と炭酸ガス濃度 (佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、森井順之、加藤雅人、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.77-92 06.3

(3 論文) 紫外・可視反射スペクトル法による染料非破壊分析のための基礎研究(2) 緑色系漆に用いられるインディゴの検出 (吉田直人、三浦定俊) 『保存科学』45 pp.141-148 06.3

(3 論文) 「独々涅烏斯(ドドネウス)草木譜」原本の科学的調査(1)(吉田直人、加藤雅人、佐々木良子、吉川也志保、岡本幸治) 『保存科学』45 pp.167-176 06.3

(3 論文) 文化財公開施設の空気環境評価における変色試験紙法の再評価 パッシブインジケータ®との相関(佐野千絵、吉田直人、石崎武志) 『保存科学』45 pp.215-226 06.3

(3 論文) Possibility of Non-Destructive Dye Analysis by UV-Visible Spectroscopy, *The 28th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property, Non-destructive Examination of Cultural Objects –Recent Advances in X-ray Analysis–*, pp.144-151, 06.3.

(5 学会発表) 超高感度紫外・可視分光光度計による有機染料非破壊分析(2) 各種文化財への利用可能性(吉田直人、三浦定俊) 文化財保存修復学会第27回大会 東京芸術大学 05.5.14-15

(5 学会発表) 漆工品における藍の分光学的手法による非破壊的検出法(吉田直人、三浦定俊) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 仮設保護覆屋の設置と環境モニタリング(三浦定俊、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、木川りか、石崎武志、森井順之、山本記子、加藤雅人、早川典子、川野邊渉、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(5 学会発表) 「特別史跡キトラ古墳」壁画の保存と管理 キトラ古墳石室等における生物被害とその対処(佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英、山本記子、加藤雅人、早川典子、青木繁夫、村上隆、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保、三浦定俊) 日本文化財科学会第22回大会 北海道大学 05.7.9-10

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本生物物理学会

綿田 稔 WATADA Minoru (平成17(2005)年4月1日~12月31日まで協力調整官 情報調整室、平成18(2006)年1月1日より美術部)

(3 論文) 崇福寺蔵「二十八相像」をめぐる一明兆、雲谷等益から雪舟、文清まで— 『美術研究』386 pp.1-18 05.6

(3 論文) 雪舟の山水長巻の移動—「名品」の価値形成— 平成14~17年度科学研究費補助金・基盤研究(A) 『モノ・宝物・美術品・文化財の移動に関する研究』報告書(課題番号14201009) 東京文化財研究所 06.3

(4 研究ノート) 流行する雪舟 『歴博』132 pp.6-10 05.9

(4 解説) 本阿弥光悦・俵屋宗達筆 鹿下絵和歌巻(シアトル美術館蔵) 『2006年在外日本古美術品保存修復プロジェクト フィリップモリスジャパンK.K.カレンダー基金』文化財保護・芸術研究助成財団/フィリップモリスジャパン株式会社 05.12

(4 展評) 墨黒の悩ましい存在感—「高田敬輔と小泉斐展」を観て— 『美術研究』388 pp.39-43 06.2

(6 発表) 雪舟筆「破墨山水図」はどう読めるか 美術部研究会 東京文化財研究所 06.1.18

(7 所属学会) 美術史学会

(7 委員) 雪舟研究会(山口県立美術館)研究委員